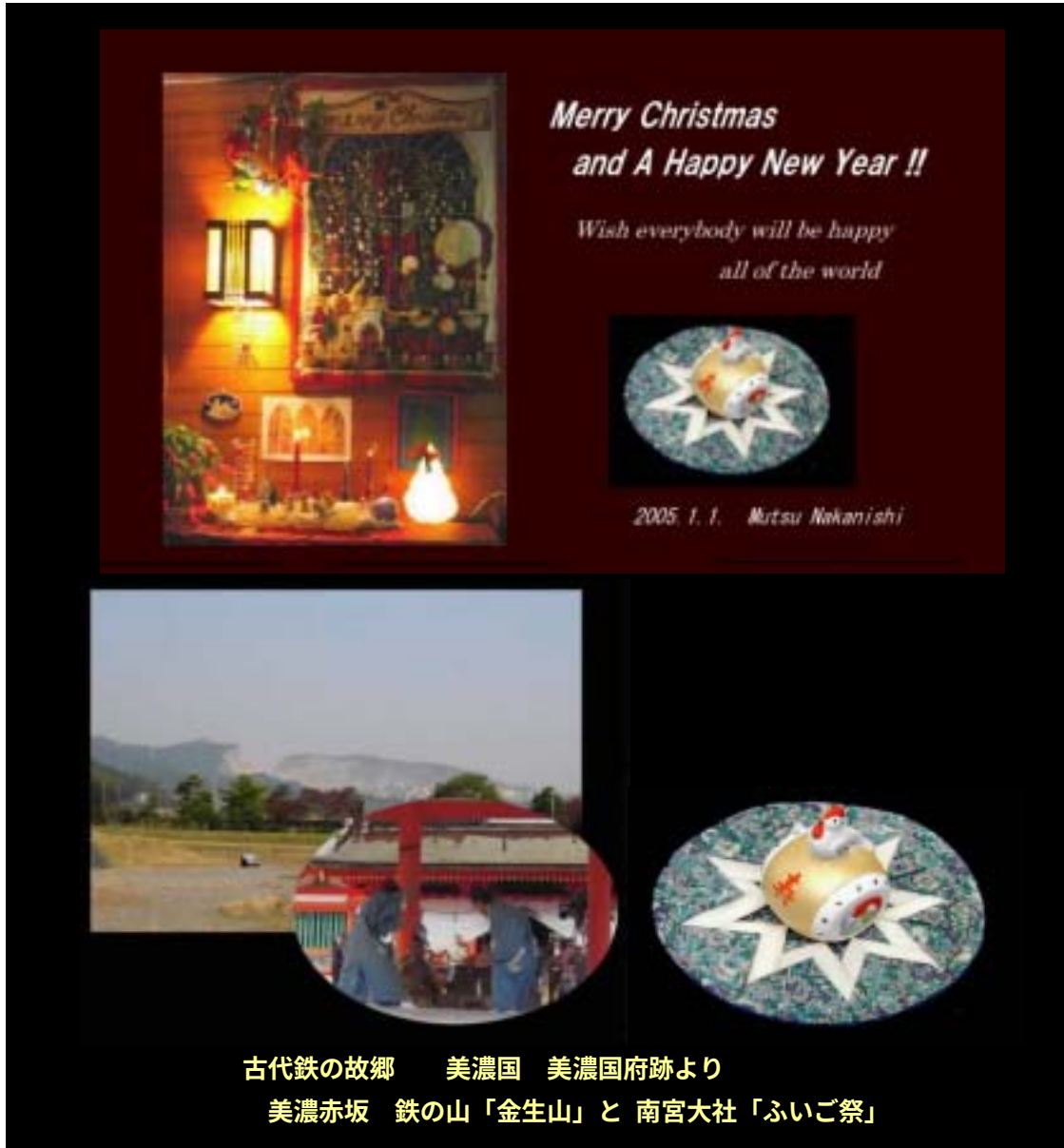


新年おめでとうございます

新春を迎え 皆々様のご健康とご多幸を 心からお祈り申し上げます



連続台風の中越地震 そして インド洋での巨大地震と大津波の追い討ち。
被災地の人たちには 暖かい手が差し伸べられ、早く立ち直られること願っています
また、世界では戦禍と飢えの人の群れ
まだ 歯止めのかからぬ時代 一人一人が平和の道具
新しい行動が必要とされる時代 ご指導のほどよろしくお願いします

15 万人を超える犠牲者をだした地球規模のインド洋巨大地震・大津波
被災者の方々に温かい救援の手が差し伸べられ、早く立ち直られんことを !!

2005. 1 月 17 日 New Page from M. Nakanishi



神戸市街 全景 2004.12.16. 神戸高取山より

思いもかけないインド洋での巨大地震・津波のニュースの中で新しい年が始まりました。

ペナンの仲間の無事にホツとしているわけには行かない気持ち。

何とか 穏やかで明るい年にねばと願っています。

神戸では阪神・淡路震災 10 年がやってきた。

10 年一区切りとは言いますが、まだまだ課題の多いこれからの時代。

「風化」がさげばれ、多くのイベントが組まれています、口先だけの豊かさ・ほかの人を当てにした実践論ではどうにもならぬ。

何が必要なのか??? また 必要なところに必要なことが・・・

また お仕着せ・犠牲ではない共有の暖かさが・・・

判っていてもなかなかできない行動 ひとつでも前向いて・・・と思っています。



古代和鉄の郷 雪の北近江マキノ

毎度かわりばえしませんが、今考えていることなどなぐりがきですが、ホームページ更新しましたのでお知らせします。

なにか 重苦しい厳しい気持ちの中での一年のはじまりですが、今年も 風来坊気が向くまま「生き活きと」を考えています。色々ご指導のほどお願いします。

2005. 1 .15. Mutsu Nakanishi

■ 阪神淡路大震災 10 年に思いをはせて



2004 年 12 月 神戸ルミナリエ

1 月 17 日で阪神淡路大震災から 10 年 街は復興したが、人の心が風化していると言われる
そんな中で昨年は大災害頻発の年多くの人が大災害に見舞われ、生活の建て直しに苦しんでいます
阪神淡路大震災から 10 年 今生き方が問われています

神戸では、今年も 「ルミナリエ」の灯がとると、震災当時のことがあちこちで語られている。

「光の回廊」ルミナリエの灯がはじめて神戸に灯ったときの「あの明るさ」の感激は今も胸にある。

震災の必要から ボランティアも含め、自然発生的に自らが、お互いのために役割を演じ、相互に理解しあう行動とコミュニケーションが息づき、「震災ルック」と呼ばれた「リックサックとウォーキング シューズ」のスタイルとともに社会に根付きはじめた。

若者があんなに頼もしく見えた時もない。

アメリカにいて、震災から免れた後ろめたさを胸に 真っ暗な夜 静まり返った被災の街を息を詰めて須磨寺から須磨離宮を通して家族のもとへ帰った時のあのなんともいえぬやりきれなさも頭からはなれない。

今また、戦火と災害の中にある人たちに対して 「心の豊かな社会づくり」の掛け声とは裏腹にまたしても冷たい「競争社会」と「強者・弱者」の厳しい差別化が頭をもたげている。

「 今 自分が強者・勝者の中にあってもいつ それがひっくり返り、

弱者・敗者の仲間入りするかもしれない危うい社会」に自分がいる 」

そんなことに気付きもせず、気付いても 封じ込めているのかも知れない。



2004.12.20. 2004 年 神戸 ルミナリエ



「風化」とはなにか・・・多くの記念イベントが行われているが、お祭りでは何の役にも立たない
街の形は復興しても 心の根底にある「温かい共生と自立」の意識を根ざさないと空虚なものになってしまう

自分に何ができるか・・・いつも自問自答し、思いを新たにする

「自分は何もできない・・・」を振り回すことなく、合言葉は「語り合い」・「伝えあい」・「ふれあい」

「小さくても 感じたことをストレートに自ら実践へ・・・」

昨年も そんなこと考えていたように思いますが、

ぜひとも 今年は・・・と思いを新たにしています。

阪神淡路大震災 10 年に思いをはせながら

2005.1.15. Mutts Nakanishi

■ 西アフリカ マルアの子ども達の乾期に唄う「雨ごいのうた」

昨年 11 月 20 日 地球おはなし村「アフリカ ペツテ村 井戸掘り」チャリティ公演で、おはなし隊の木下さんによってうたわれた詩がホームページに掲載されました。

何とやさしい心の詩だろうと感激で本当に熱くなりました。その感激を皆さんにもお伝えします。

西アフリカ マルアの「雨ごいのうた」

西アフリカ マルアの子ども達の乾期にうたう「雨ごいのうた」

神様 雨を降らせて下さい

野のチョロル鳥にも 雨をお与え下さい

野のチョルチョロル鳥にも 雨をお与え下さい

野の獣みんなが お水を飲めますように

神様を信じる人達みんなが お水を頂いて飲めますように

おばあさんも お水を頂いて飲めますように

目の悪い方も お水を頂いて飲めますように

親のない子ども達が お水を頂いて飲めますように

子ども達が病気にならないで

からだの悪い子どもがよろこんで

おばあさん達がよろこんで

おばあさん 病気にならないで

お水をもらって よろこんだら

わたしら 本当にうれしいなあー

地球おはなし村 ホームページ より

また、皆様にお世話になった地球おはなし村「西アフリカ ペツテ村 井戸掘り」募金 目標どおり募金があつまり、募金受付を終了致しました。本当にご協力有難うございました。

募金総額概要・今後のペツテ村井戸掘り実践スケジュールなど下記「地球おはなし村」ホームページに掲載されましたので、ご報告しますとともにご支援・ご協力感謝。引き続きご支援・ご協力よろしくお願い致します。

●地球おはなし村ホームページ 「西アフリカ 北部カメルーン ペツテ村に井戸を!!」募金受付終了報告

ペツテ村に井戸を！ のキャンペーンにご賛同いただいたみなさま方、本当にありがとうございました。

うれしいお知らせです。

2005年 5月、ペツテ村のジュセツペ神父から、待望の井戸ができて、水が出た、とのお知らせと写真が送られてきました。

村のみなさんの喜びの顔をごらんください。



以下、ジョセツペ神父からのお礼文です。

親愛なるポールさん。 お元気ですか。 私は元気です。暑くて、体にはあせもができています。でも、まもなく雨期です。神様がいらっしゃるます。我慢するのみです。

ムーダの人たちが一生懸命になって、深井戸をほりあげ、ポンプもつけました。

水がでてきています。 おかげさまで。

何枚かの写真をおくります。

井戸掘りのために寄付をいただいたお友だちに みせてあげてください。どうもありがとう。 深井戸の ほかの写真も みてください。それではまた。

ジョセツペ

(ムーダとは、マルアから33キロ南にいったところにある村です。そこに、ボランティアの イタリア人の技師たちが滞在していて、そこからペツテ村までやってきて、井戸をほったのです。

なお、雨期は あと1ヶ月もありません。

雨期になると ペツテ村は自動車ではいけなくなり、孤立してしまいます。

ぎりぎりいっぱいがんばって、井戸掘りをしたことになります。)

■ 最近のNHK ドラマの風潮に「冬のソナタ」のブームを重ねて 感性をわすれたのか。。。

「冬のソナタ」がNHKで放送されて韓流ブームを巻き起こし、社会現象になって、すごい騒ぎになっているという。一方 最近のNHKのドラマ番組 プロジェクトXも含め、何か恣意的な影が見え隠れして まったく面白くない。

NHKドラマ 番組がはじまる前に筋が何度もフラッシュ放映され、本に雑誌に猛烈なPRが繰り返し組まれている。そして 其の中で 筋がわかってしまっている。

一番 胸わくわくするところが、すでに前宣伝で明らかにされるドラマ もう一番いいところを捨ててしまったようなもの。それで、内容がわかったうえで、「見て感激せよ」を繰り返す。

何か 管理され、「それにみんな乗り遅れたらあかん」とせきたてられているような感じがしてならない。

自分なりのイメージを膨らますことも感性もあったものでない。

面白くなるのもそんなとこ。

最近のプロジェクトXも似たようなもので、涙するところ 感激するところ みんな台本にまるで書かれている

かのように。筋もそれらが出てくる時間までほぼいっしょでは・・・・・・

「豊かさ・暖かさ・やさしさ」の言葉が氾濫するが、実際には不安定で、安心した仲間の中にいないと生きていけないような風潮の社会。そんな社会の中で みんな同じでなければならないのか・・・はたまた、無意識にそれを求めているのか・・・

NHK はそんな風潮の先乗り・代弁者そんな感じがしてならない。

「感性」「判断力」「自立性」がなくなってきたのは何も「子供」の学力の問題だけでなし。

日本人全体がそんな社会作りに甘んじているからではないか。。。。。

「冬ソナ」もある御仁が多くの人に聞いたところ、「最初からこれを見た人はどの世代をとっても少なく、ブームといわれだしてから、とりこになった人が圧倒的」という。

乗せられることによって起こるブーム。そうかもしれないなあ・・・・と。

「それも 悪くはない」とは言いますが。。。

一方で世界一般以上に 国際競争・グローバル化の掛け声の下に 厳しい競争社会が冷酷に進んでいる現実を見ると そんな社会の風潮に自分も加担しているのか。。。。と

なにか 誰を気にすることなく感激するような感性がまた奥底にしまわれ、一番先に立つのは損をするといった村社会の道が静かに進行しているのか。。。。 みんなと一緒に信じていたら 自分だけが取り残される。いつ 自分がエスケープゴートにされかねない時代。

「冬ソナ」がどうのこうのではありませんが、 NHK の最近の動きに「いやな風潮」そんなことを感じています。 良いか悪いか わかりませんが、何か 時代が大きく変わろうとしている中で あてがわれるのではなく、先をしっかりと見る目だけは養っておきたい。

あるテレビ番組で 日本のバブル期の猛烈な絵画の価格上昇が 今客がまったく離れ、ビジネスにならぬ状況と今中国で起こっている絵画のバブルを伝えていた。

バブルを経験した日本と中国のビジネスマンの市場感の違いにうなっていました。

日本のバブルを経験した人が、中国のビジネスマンに自制を促す。

売れる絵しか描かなくなつた画家を憂い、また ビジネスの拡大によるユーザーの多さに眼を奪われ、売れるとする値段の吊り上げ 拡大路線の追走が、異常としてとらえ、道を修正しないといずれバブルをハジキ、ビジネスも何もかも破壊すると。。。

でも 中国のビジネスマンいわく

今 この時流に乗らずして。。。。 中国には中国の流れがあり、日本は参考にならぬ。

今の時流にわれわれはかけると。。。。

これも みな 自分の行き方の問題。どうなってゆくのか。。。。。

阪神・淡路大震災10年を迎え、この10年の評価 そして 今の生き方が 多くの人によって論じられている。 なにか 自分でも と思いながら ついつい ぶつぶつです。

2005.1.17. Mutsu Nakanishi

◆ 今月のホームページ 概要

1. 西アフリカ マルアの子ども達の乾期にうたう「雨ごいのうた」

昨年11月20日 地球おはなし村「アフリカ ペツテ村 井戸掘り」チャリティ公演で、おはなし隊の木下さんによってうたわれた詩がホームページに掲載されました。

何とやさしい心の詩だろうと感激で本当に熱くなりました。

その感激を皆さんにもお伝えします

西アフリカ マルアの子ども達の乾期にうたう「雨ごいのうた」

神様 雨を降らせて下さい 野のチョロル鳥にも 雨をお与え下さい

野のチョルチョロル鳥にも 雨をお与え下さい

野の獣みんなが お水を飲めますように 神様を信じる人達みんなが お水を頂いて飲めますように
おばあさんも お水を頂いて飲めますように 目の悪い方も お水を頂いて飲めますように
親のない子ども達が お水を頂いて飲めますように 子ども達が病気にならないで
からだの悪い子どもがよろこんで おばあさん達がよろこんで
おばあさん 病気にならないで お水をもらって よろこんだら
わたしら 本当にうれしいなあー

地球おはなし村 ホームページ

2004年11月20日 十三聖贖主教会にて チャリティー公演の一日 より

2. 北近江 安曇川・マキノ 雪の山郷 Country walk 古代 和鉄の郷 北近江 マキノ



近江舞子近辺より 比良正面谷



マキノ メタセコイアの回廊

1月14日 急に雪の郷を歩いてみたくなって、比良の雪をみがてら 琵琶湖西岸の湖西線に飛び乗って 北近江のマキノに行ってきました。

この地は古代朝鮮半島から大和を結ぶ交通路の要衝で古代和鉄の先進地。

鉄鍛冶・精錬を背景に大和に並ぶ豪族・渡来人の根拠地。暖かくなったらこれら製鉄遺跡を訪ねようとその予備調査も兼ねて。。。。。

鉄に付いてはまた別にまとめますが、本当に風来坊 雪の山郷をぶらぶら歩いて 鉄の話を聞いたり、教えてもらったり、車から声をかけて貰って、駅までおくってもらったり、おまけに路線バスまでのせてもらったり。。。。北近江は人情深い温かい地。一日雪の中に遊んで帰りました。

比良の頂上部は雪に覆われていましたが、琵琶湖の反対側には伊吹・鈴鹿の山が浮き、滋賀と若狭を分ける赤坂・三国山山塊の山裾に広がる雪に覆われた古代製鉄の里マキノには駅から4kmと続くメタセコイアの並木道が続く。今流行の「冬のソナタ」ブームでこのメタセコイアの並木道を訪れる人が多いとか。。

すばらしい並木道でした。

ちょっと Country Walk から遠のいてもややもやしていましたが、すばらしい雪の山郷の Country Walk に成りました。

古代和鉄の道 日本での製鉄精錬の始まりにかかわる遺跡探訪

近江・美濃・北九州彩色古墳群とまだ頭の整理できず、たまってしまいましたが、ちょっとづつ、まとめます。

3 最近のNHK ドラマの風潮に「冬のソナタ」のブームを重ねて 感性をわすれたのか。。。。

「冬のソナタ」がNHKで放送されて韓流ブームを巻き起こし、社会現象になってすごい騒ぎになっているという。一方 最近のNHKのドラマ番組 プロジェクトXも含め、何か恣意的な影が見え隠れして まったく面白くない。

阪神・淡路大震災10年を迎え、この10年の評価 そして 今の生き方が 多くの人によって論じられている。 なにか 自分でも と思いながら ついつい ぶつぶつです。



大和で古代の新しい発見が相次いでいる

明日香 甘檜丘より大和の国 背後に大和三山 奥に金剛・葛城の山並み 2005.2.4.



早春 須磨浦 春を告げる梅の花 旗振山山上 & 須磨網敷天満宮 2005.2.17.

日増しに暖かくなって 神戸でも 遅れていた梅便り もう春間じかです

ぽかぽか 陽気に誘われて 梅をもとめて ぶらぶら歩いた須磨界限 春まじか

『蝸牛 角ふりわけて 須磨 明石』 松尾芭蕉

明石海峡を渡るのどかな風に 梅花の香り その背後には大橋をくぐって海峡を ゆっくりと航行する LNG 船

一度 春の神戸須磨へも お出ましく下さい

毎年 花粉症に苦しむんですが、今年も一度ひどくなりかけたのですが、今は落ち着き、出かけられるようになりました。

これから、本番でしょうが、心配した友達が花粉症対応 good など送ってくれ、これに助けてもらうつもり。

これから、花粉が大量に飛びかい 風邪も流行の兆し ご健康にご留意ください。



毎年 一番寒いこの時期に約 1 ヶ月ほど数回に限って 奥出雲横田町で行われる「日刀保たたら」のたたら操業 (2005.1.17.)。

日本全国の刀匠に刀を打つ為の鉄素材「玉鋼」を提供するためのたたら吹きで、現役のたたら吹き操業はここだけになり、一度は是非見学したいのですが、今年も実現できませんでした。

その今年の操業を詳細に伝える鉄鋼新聞の記事を友人が送ってくれました。これも冬から春への風物詩。でも、刀打ちの「鍛錬・熱処理」技術が最先端の技術に繋がることは知っていても、このたたら技術が最先端の技術開発につながっていること知っている人はあまりいない。

つい最近の新聞ですが、超高純度の金属・鋼新素材（高合金）開発を高温高压で使用される発電・原子力などエネルギー素材として開発して、エネルギー製造の効率をあげて、地球環境対応の切り札することへの挑戦が報じられていた。現代の製鉄法では得られぬ高純度鉄 それがたたら技術。

今もって、刀匠たちが たたらの「玉鋼」を求める由縁でもある。

このたたら鉄 「高純度」の質が発する性能を「現代の製鉄法でよみがえらせる」ことが先端材料開発手法として試みられている。緊急課題の地球環境改善の取り組みとして、たたら材料の持つ特徴を現代の材料に吹き込む。

先人の知恵 これも鉄の重みかと思っています。

2005.3.1. Mutsu Nakanishi

■ 風来坊 古代 和鉄の道 Walk



装飾古墳を飾る形象図形文様 王塚装飾古墳館で 再現実験展示より



北九州 装飾古墳の内部壁画 左: チブサン古墳 中&右:王塚古墳

6 世紀 ちょうど大和王権が確立してゆく過程で 突如菊池川・筑後川・遠賀川など限られた北九州大河流域に登場し、忘れ去られていった北九州の装飾古墳。

「独自の謎の図形文様とその彩色」の美しさに見せられ、ちょうど同じ6世紀 日本で鉄の自給が始まる時期に重なるのを知って、和鉄との関係など色々調べましたが、結局良くわからず。。。。。

この時期 朝鮮半島と技術・文化・人の緊密な交流があり、日本に数多くの文化が持ち込まれ、鉄についても 朝鮮半島からの鉄素材の大量供給をうけ、鉄加工・鉄鍛冶による鉄器の製作が急速に進歩しながら、「鉄素材を作る技術」は弥生時代に鉄器伝来以来 1000 年の長きに渡って日本で育たず、「たたら製鉄」が始まる 5 世紀後半である。

「鉄器が作られながら、その素材が作れない。1000 年の長きにわたって」 実に不思議である。

伊万里焼や萩・薩摩焼など朝鮮半島からやってきた「陶工 伊万里の李三平」のような歴史があったと思うのですが、まったくわからない。

鉄製造が日本ではじまると「出羽鍛冶」「舞草鍛冶」など北の蝦夷地から数多くの鉄鍛冶が「俘囚」として東国・大和へやってきたことが判っているのに、一番最初のところが解らない。1000 年にもわたって・・・・でも、この時期 大和を中心に大陸・朝鮮をも巻き込んで日本各地で、激動が渦巻いていたこと また 「日本と朝鮮半島とがほとんど同族として緊密な関係にあったのではないか」と思える時代であったことなどが判りました。



金剛・葛城山の山麓で葛城氏の王城跡が出土 葛城氏王城の楼閣イメージ図

御所市極楽寺 ヒビキ遺跡 現地説明会で 2005.2.26.

一方 最近 大和で古代のロマンに通じる新しい発見が次々と相次いで、空前の古代史ブーム

大和の豪族「葛城氏」そして数々の渡来系技術集団が住んでいたという葛城の里で初期大和王権を支え 5 世紀雄略天皇によつて焼き討ちをうけたという「葛城氏の王城の跡? それも焼けた痕跡が残っている」との新聞記事。

大和王権 鉄の自給を模索した金剛・葛城の里（忍海）。

それを支えた鉄の渡来技術集団と大和の豪族「葛城氏」を重ねて 2月26日現地説明会にに行ってきました。すごい人で あらためて 古代史 大和ブームを感じました。また 別途まとめます。

また、大和で大和王権の鍛冶工房などが発掘され、「大和の鉄」もロマンの世界から現実へ そのペールをぬぎつつある。

それに 便乗しているわけではないのですが、「鉄の6世紀」を求めて大和の walk にちょくちょく出かけています。



3 世紀 自然の褐鉄鉾容器 鳴石 川原寺北限施設 鍛冶工房跡 飛鳥池鍛冶工房跡
大和 唐古・鍵弥生遺跡 7 世紀 大和王権の鍛冶工房跡 2005.2.4.

そんな Walk をちょっとずつまとめています。

「謎の北九州 装飾古墳 それは渡来の鉄技術集団の痕跡。彼らの歩いた道は古代 和鉄伝播の和鉄の道」そんなイメージ（妄想???）を抱いて、今月 北九州の装飾古墳について 資料整理してみました。結局空中分解。

なんとか記事にはまとめてみましたが・・・・。

今でも僕は「装飾古墳は古代の和鉄の道」だとおもっているのですが ご意見お聞かせください。

■ 「じゃんけん」と「コイン トス」

日本から東南アジアにかけては 3 すくみの「じゃんけん」の遊びがある。

欧米には「表か裏のコイン トス」しかなく、じゃんけんはないという。

各国の心情のルーツを論ずる時には「キリスト教・イスラム教などの一神教」と「日本 八百万の神 ・原始自然神の多神教」などと宗教がすぐ持ち出されるが、じゃんけん遊びの方が僕には理解しやすい。

最近の新聞にも 「じゃんけん」遊びを「強・弱をつくらぬ平等」の思想として説いていた。

でも それだけではいかぬ社会。

おなじ 「じゃんけん」にも 多くの人たちで間引きをやる「多い者勝ち・・・」や「少ないもの勝ち」の知恵もある。

また、逆に欧米にもおみくじと同じ「棒引き」だってある。

最近の中国の印象は「コイン トス」の世界か・・・

韓国のドラマ・映画みているとほんと原日本の色 「じゃんけん」の世界か

それでは 「あみだくじ」は欧米にないのであろうか・・・

「アフリカには あみだ くじ」に似た遊びがあるとアフリカを研究している御仁からききました。

多様な考え方 場所と時と人 どう調和するのか 京都議定書が発効 「地球人」を考えねばならぬ時
古きを訪ねるのもひとつの知恵。

今月は 古代の鉄を追い求める記事ばかりになってしまいましたが、暇なときでも眺めてください。

梅をもとめて ぶらぶら歩いた須磨界隈 のどかな春まじか

明石海峡を渡る風に 梅花の香り その後ろには大橋をくぐって ゆっくりと航行する LNG 船

「蝸牛 角ふりわけよ 須磨 明石」

松尾芭蕉

「淡路島 通う千鳥の鳴く声に 幾夜寝覚めぬ 須磨の関守」

小倉百人一首

一度 春の神戸須磨へも お出ましく下さい

また 花粉が大量に飛び 風邪も流行 ご健康にご留意ください。



2005.3.1. Mutsu Nakanishi

◆ 今月のホームページ 概要

1. 須磨春便り 「早春の須磨 梅見ハイク」

北から南へ 摂播国境 奥須磨の丘陵を旗振山を超えて須磨海岸へ 2005.2.17.

ぽかぽか陽気に誘われて、奥須磨の丘陵地から明石海峡・須磨浦を一望できる旗振山を通過して須磨浦海岸へ
約3時間の気楽な早春の梅見ハイク。

梅の満開にはちょっと早かったのですが、楽しい walk

こんないい散歩道があったとは・・・驚きでした。

身近な低山の里山歩き 新しい発見があって おもしろい。



摂津/播州国境 奥須磨の丘陵地 丘にはさまれた狭い谷は静かな日本の原風景 2005.2.17.



須磨 天神町 網敷天満宮の梅林で 2005.2.17.



旗振山 頂上から 須磨浦海岸と明石海峡

2. 鉄のモニュメント 自然が作り上げた弥生時代の鉄の顔「鳴石」

-唐古鍵弥生遺跡から出土した最大級のヒスイがおさめられた褐鉄鉢容器-



2004 年発掘された日本列島展に大和の真ん中 唐古・鍵弥生遺跡から出た「鳴石」と呼ばれる自然にできた褐鉄鉢の容器に入れられたヒスイが展示されていた。

これは高師小僧の変形。古代和鉄の原材料の可能性のある材料である。

もう 弥生時代から 褐鉄鉢が重要視されていること知りました。昔の唐古・鍵弥生遺跡 Walk のファイルもひっくり返して、まとめて見ました。

3. 鉄の6世紀 北九州の装飾古墳に和鉄の道を重ねて

装飾古墳群は古代 産鉄の技術集団が残した和鉄の道でなかったか・・



チブサン古墳



王塚古墳 前室



王塚古墳 玄室

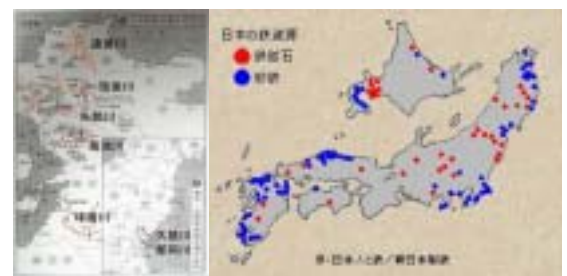


装飾古墳を飾る形象図形文様
王塚装飾古墳館で再現実験展示

6 世紀 ちょうど大和王権が確立してゆく過程で 突如菊池川・筑後川・遠賀川など限られた北九州大河流域に登場し、忘れ去られていった北九州の装飾古墳。ちょうど同じ6世紀日本で鉄の自給が始まる時期に重なる

「装飾古墳は鉄の自給のため、大陸・朝鮮半島からやってきた産鉄の技術集団の足跡ではなか・・」

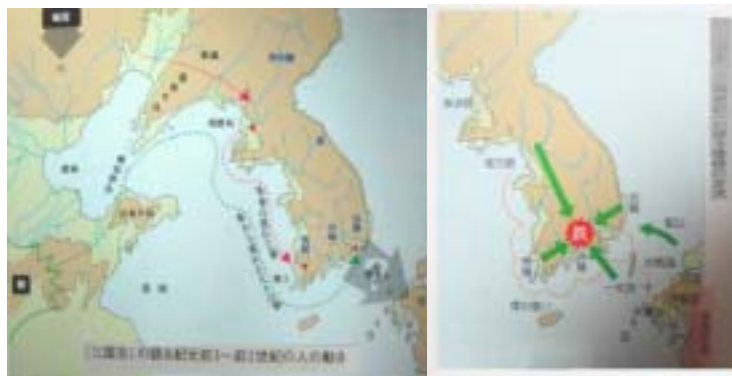
「鉄の自給に必死に取り組んだこの時代 先たたら技術集



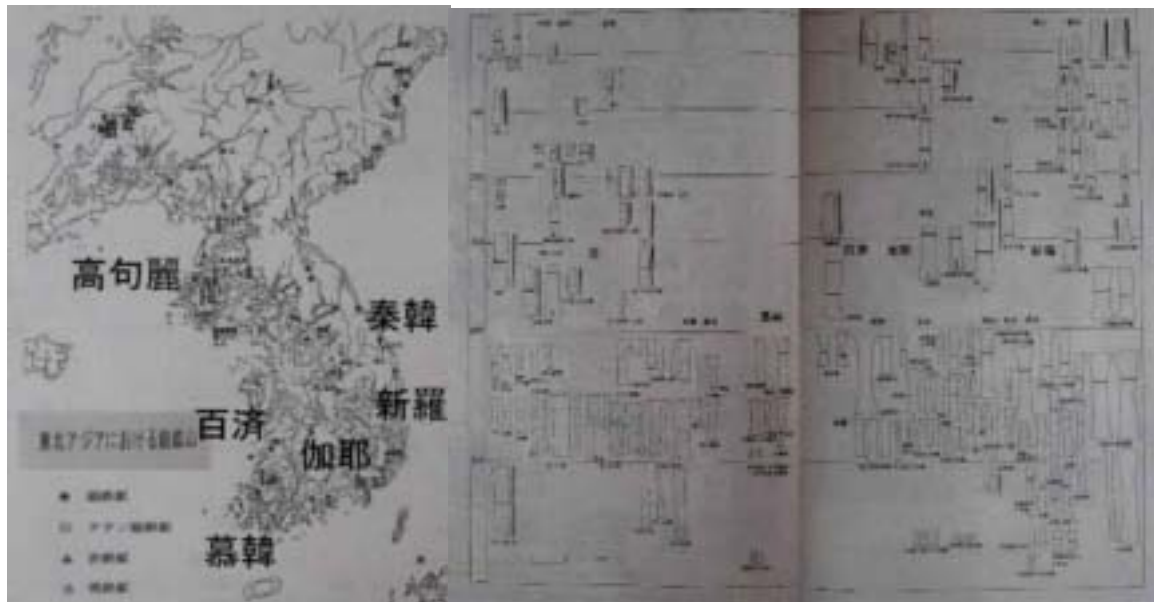
装飾古墳分布と砂鉄・鉄鉱石分布

団と重なるのではないか・・・・」

1. 古代 北九州に花咲いた装飾古墳群を訪ねて
ー熊本県山鹿市チブサン古墳と福岡県桂川町王塚装飾古墳ー
 - 1.1. 熊本県 菊池川流域の装飾古墳群 チブサン遺跡・鍋田横穴古墳群・熊本県装飾古墳館
 - 1.2. 日本で一番美しい装飾古墳 筑紫の国 王塚装飾古墳
2. 装飾古墳概要とその時代 鉄の自給へ向けた技術競争と朝鮮
 - 2.1. 北九州など限られた大河流域で花咲いた謎の装飾古墳群
 - 2.2. 装飾古墳の時代 大和王権の建設期 鉄の安定供給を求めて大陸・朝鮮へ
3. 熊本県菊池川流域に古代「火（肥）の国」の製鉄遺跡を探して
菊池川下流北岸に点在する小岱山製鉄遺跡群と玉名市疋野「炭焼き長者」伝説
4. 日本の古代製鉄地帯と装飾古墳群の重なり
5. 装飾古墳のルーツは・・・・朝鮮半島 鉄の供給地との関係



古代 鉄を巡る朝鮮半島と倭の関係



朝鮮半島諸国 倭への鉄素材鉄ティとその供給基地

なんでもかんでも 鉄に結び付けて・・・・とは 思いながら 調べはじめましたが、実に面白い。
妄想かもしれませんが・・・・

北九州の装飾古墳 Walk に今まで歩いた「和鉄の道」資料を重ねて 「鉄の6世紀 日本誕生と鉄の自給」にかけたロマンを追いかけてみました。



春の花 神戸 庭先で 2005.4.1.

春をもたらす そよ風

やっと 庭先で春の花かせさきだし、桜便りもちらほら

我が家にとっては 3月27日イースターの朝 札幌の娘に男の子誕生 二人目の孫です
元気にすくすくと育ってほしいと願っています

イースター(キリストの復活) と そよ風

「そよ風のように生きる」という言葉 僕の好きな言葉のひとつなのですが、「この言葉の底には「神の御手にゆだねる 何事も受け入れる激しい意思と行動が常にある」と聞きました。」

「神が微笑んだ」とか「そこに神がいた」とか そんな経験の底も同じと思っています。

「心の清い人は神を見る」 何事にも前向きに生きたいものです

言葉ばかりが先行の昨今 自己革新の大命題を突きつけられたような気がしています

2005. 3.27. 2005 年 イースターの日に

4月 我が家には 二人目の孫誕生。 バンザイ !!

寒さが残って なかなか 春らしくならず、やっと桜の花も開花をはじめたところ。なかなか 春のそよ風 いった具合にはいきません。でも 新年度がはじまりました。

世の中は 世代交代の狭間 色々訳のわからぬ話が多いこの頃です。

いつも この時期 自宅の庭にも パツと花が咲き、華やぐのですが、今年はちょっと遅れています。

でも、我が家には 二人目の孫誕生。 バンザイ !! です。

4月のホームページ更新を行いました。

相変わらずですが、「ぶつぶつ」いいながら 風来坊楽しんでます。

なにか お役に立つ情報あればいいのですが、相変わらずです。

やっぱり ホームページの巻頭 庭の花でかざろうとデジカメもって、パチパチ。そして 菜の花も……。

「そや 春を告げる目出度い花は 福寿草や・・・」と色々調べました。関西の野山では まだ早く 四国へゆけば・・・と。

でも インターネット調べると「大阪・高槻の向こうの善峰さんの上のポンポン山に知る人ぞ知る福寿草の自生地 そして 今真っ盛り」と。

デジカメもって 行き当たりばったり半信半疑でしたが、小さな花ですが、春のひまわりでしょうか 太陽に向って 精一杯手を広げて咲く福寿草の群落に出会えました。

春を告げる花 「菜の花」と「福寿草」の写真 掲載します。



神戸運動公園 菜の花の丘 2005.3.18.



春を告げる福寿草 ポンポン山 西尾根の谷の北斜面の自生地 2005.3.31.

和鉄の道 walk

こっちは 風来坊の強み せっせと大和・飛鳥に通って、 古代倭王権の和鉄を訪ねて歩きました。

飛鳥・大和というと 万葉集だらけですが、鉄をキーワードにすると 万葉集にも負けないロマンの広がり にビックリ。 せっせと大和通いになりそうです。

また 3.29. NHK 「プロジェクト X 千年の秘技 たたら製鉄の復活」が奥出雲 横田の「日刀保たたら」たたら製鉄復活の物語が放映され、私も食い入るように見ていました。

じわっと還元されて湧きだす鉄と炎の変化に魅了されていました。

メールや電話など 色々教えていただいて有難う御座いました。

多くのところで 「たたら」の仲間が増えるのはうれしい限りです。 本当に有難う御座いました。

今回 上記したようなこと 自己満足気味ですが、まとめて ホームページ更新しました。

あいかわらずですが、また 色々ご教示ください。

■ 2005 春 風来坊 walk 春を告げる「福寿草」



里の春は梅・桜 山の春は福寿草・カタクリ
大阪から京都へ行く途中 天王山など左手に見える北攝の山のひとつ「ポンポン山」に春を告げる花「福寿草」の群落があると聞いてみました。
関西では 鈴鹿や吉野の山中にしか自生地がないと聞いていたのですが、本当にすぐ近く もっとも山の上の急な北斜面の谷間ですが、太陽に向けて 精一杯手を広げている元気一杯の黄色い花「福寿草」が咲いていました。

一輪のカタクリが風に立ち向かって体をゆすっている姿にも感動しますが、山の斜面に手を精一杯広げた黄色いなが顔出していると華やいで元気が出てきます。



春を告げる福寿草



ポンポン山



西尾根の谷の北斜面の自生地で 2005.3.31.

● 風来坊 古代 和鉄の道 Walk

1 月より せっせと古代の和鉄を訪ねて 大和へ通いました。

「たたら製鉄」の炉跡などが出土し、日本での和鉄製造が具体的に明確になってくる 5・6 世紀は倭政権が成立し、国としての骨格が固まって行くこの時代

鉄が具体的な実用段階に入って、大量生産が必



甘樫丘より 大和平野 背後に金剛・葛城の山並みを望む

要になってきたこの時代 たたら製鉄が具体的な鉄生産の担い手となってバールをぬぐ。

そんな時代 鉄を支配した倭王権の王城の地でその倭王権と密接な関連を持つ鐵鍛冶専用工房が営まれていた。6世紀末壬申の乱を制して中央集権を確立していく天武天皇の時代の鍛冶工房が飛鳥の地で。

また、5世紀倭政権の成立を支えた葛城氏の本拠地 葛城山の山麓「忍海」には そんな鉄鍛冶技術を持った渡来技術集団と和鉄の痕跡が点々と残っている。

さらに 同じ時代 先月報告した「北九州の装飾古墳群」を造った渡来人たちは鉄技術をもたらした技術集団と鉄とのかかわりにも興味を持っている。

そんなことで 大和平野を挟んで東西に対峙する飛鳥・葛城山山麓へ幾度か通い、和鉄の道 walk 丁度そんな折、葛城山麓では「葛城氏の王宮」が そして 飛鳥では天武天皇の「飛鳥御浄原宮 正殿」が発掘されたとの報。興味深々で見えてきました。

飛鳥・大和 というと すぐ 万葉集なのですが、「鉄」をキーワードにして歩いてみるとまた 違った色 なのが見えてくる。

大陸から朝鮮半島を経て大和へ「和鉄の道」そして 大和から各地へ張り巡らされた「鉄の道」すごい事が、この時代に起こっていた。

あまり良く知らなかったのですが、「鉄の6世紀」 その痕跡が大和の随所に残っている。

鉄のロマンというか そんな話が續々 頭を駆け巡っていました。

そんな 飛鳥・葛城の和鉄の道 Walk を下記の項にまとめました。



城山麓 葛城の道より 大和平野を望む 鉄の渡来人の根拠地 葛城山麓 忍海

1. 7世紀 古代飛鳥の製鉄遺跡を訪ねて 飛鳥 Walk 2005.2.4.

官宮大コンピナート「飛鳥池生産工房遺跡」&「川原寺寺院工房遺跡」のモニュメント

2. 金剛・葛城山麓 葛城氏の鍛冶工房「忍海」

古代 「忍海」には数々の渡来人が住み鉄鍛冶の技術を伝えた

2. 3.29. NHK 「プロジェクトX 千年の秘技 たたら製鉄の復活」

3.29. NHK 「プロジェクトX 千年の秘技 たたら製鉄の復活」が奥出雲 横田の「日刀保たたら」たたら製鉄復活の物語が放映され、私も食い入るように見ていました。

じわっと還元されて湧きだす鉄と炎の変化に魅了されていました。

「溶鋼の神秘的な炎の変化とまばゆい輝き」と 玉鋼にみる「素晴らしい肌の輝き」

鋼には「閃光」と「肌光」という言葉がありますが、やっぱり、鉄の炎を見ていると血が騒ぎます。

バチンコ玉みたいな小さな玉を集めて それを鍛錬したのだろうか・・・

それこそ 山焼きやって、その後を玉を拾い集めたのだろうか・・・

酸素を取る蒸し焼きの技術 最初は 陶器と一緒に焼いたのか 須恵器が気になる・・・・・・

そんなことをあれこれ 頭にえがきながら、きままな 和鉄の道 Walk を楽しんでいます。

◆ 今月のホームページ 概 要

1. 京都と大阪の境 北摂のボンボン山 福寿草 ハイク 早春の里山 春を呼ぶ福寿草



里の春は梅・桜 山の春は福寿草・カタクリ

大阪から京都へ行く途中 天王山など左手にみえる北摂の山のひとつ「ボンボン山」に春を告げる花「福寿草」の群落があると聞いてみました。

関西では 鈴鹿や吉野の山中にしか自生地がないと聞いていたのですが、本当にすぐ近く もっとも山の上の急な北斜面の谷間ですが、太陽に向けて 精一杯手を広げている元気一杯の黄色い花「福寿草」が咲いていました。

一輪のカタクリが風に立ち向かって体をゆすっている姿にも感動しますが、山の斜面に手を精一杯広げた黄色いなが顔出していると華やいで元気が出てきます。

2. 7世紀 古代飛鳥の製鉄遺跡を訪ねて 飛鳥 Walk 2005.2.4. 官営大コンビナート「飛鳥池生産工房遺跡」&「川原寺寺院工房遺跡」のモニュメント

1. 「飛鳥池生産工房遺跡」&「川原寺寺院工房遺跡」概要
2. 古代飛鳥の製鉄遺跡を訪ねて 飛鳥 Walk
3. 飛鳥浄御原宮 「正殿」遺跡 発掘現場を訪ねて 2005.3.9.
4. 7世紀 古代飛鳥の製鉄遺跡を訪ねて 飛鳥 Walk まとめ



甘樫丘と多武の峯にはさまれた狭い飛鳥の地に7世紀後半に4つの宮が営まれ、古代中央集権の大和王権が確立する。飛鳥はこの時代まさに飛鳥京と呼ぶにふさわしい王城の地であった。そして、壬申の乱を経て 律令国家として「国家」と呼ぶにふさわしい日本統一体制を成し遂げたのが、7世紀後半の天武天皇の時代である。その力の源泉「鉄」、鉄伝来以来 悲願であった鉄生産の自給も軌道に乗り、日本各地でたたら製鉄による大規模生産もはじまる時代である。

一度 和鉄を飛鳥に探して ゆっくり歩いてみたいと思っていた時に、大和王権を支えた鍛冶工房など一大生産工房・飛鳥池生産工房遺跡が飛鳥の中核部に存在することを知りました。一時話題となった最古の貨幣「富本銭」が此处で作られたという。

また、飛鳥京のすぐ南東側 川原寺跡史跡からは同じ7世紀 寺の創建・営繕にかかわる金属・瓦の川原寺

寺院工房（7世紀から平安時代）が出土し、川原寺寺域北限施設 川原寺寺院工房遺跡として保存されていることも知りました。

2月になって、少し暖かくなったので、これら古代 飛鳥の製鉄遺跡を訪ねて飛鳥を歩いてきました。
また、3月 「飛鳥浄御原宮の正殿が発掘された」と新聞が伝えたのを読んで、再度飛鳥の地へ。
久しぶりの飛鳥 ゆったりと昔を思い出しながらの飛鳥 walk。
天武天皇の時代に大きく飛躍した和鉄の時代 その足跡を訪ねました。

3. 金剛・葛城山麓 葛城氏の鍛冶工房「忍海」

古代 「忍海」には数々の渡来人が住み鉄鍛冶の技術を伝えた



1. 葛城氏の王宮跡 御所市 極楽寺ヒビキ遺跡 見学 2005.2.26.
2. 忍海と古代鉄 新庄町歴史博物館展示より
3. 渡来鉄技術集団の郷 忍海 Walk 2005.3.9.
4. 古代 鉄の郷「忍海」walk 雑感の6世紀 北九州の装飾古墳に和鉄の道を重ねて

「忍海」は葛城山の中腹からなだらかに大和平野に裾野を広げる丘陵地で、古代 倭王権を支えた葛城氏の根拠地。眼下に広大な大和平野がみ渡せ、そんな山の尾根筋の静かな林の中に幾つもの小さな円墳が並び立つ。朝鮮半島より渡来した鉄の技術集団の群集墓で、この集団が鍛冶工房での鉄器生産を支え、古代の葛城氏・倭王権を支えた。



冬と春が交差する北海道を歩いてきました

2005.4.20.-4.30.



上:雪の狩勝峠 鶴居村 丹頂 釧網線斜里岳

中:函館亀田半島恵山・鉄山 駒ヶ岳 森町茅部の栗林 千歳郊外原野 白樺林

下:余市フゴッペ海岸 春を告げるフキノトウ・福寿草 春の妖精カタクリ

緑燃える素晴らしい新緑

梅 雨前の素晴らしい季節になりました

お元気でお過ごしでしょうか

「6月の便り」です

桜も終わった4月下旬、誕生した孫の顔をみに札幌へ10日ほど行って来ました。

二人目の孫で初めての男の子 上の孫が弟誕生で舞い上がって、うまいこと抱くのにはびっくり。

「大朗」と書いて「たろう」 「たろうちゃん たろうちゃん」でその一挙手一動に歓声をあげて デジカメ写真。「早く 元気に早く走り回らんかなあ」ともう 先をイメージしています。

孫の写真 隅にちょこっと置いています。

便利になつて、遠く離れていますが、毎日札幌から携帯写メールと孫 娘の電話で日一日の

実況中継家内はセッセとメール書いて、宅急便に走っています。

孫の写真 隅にちょこっと置いています。



北海道へ行っている間に尼崎 福知山線の脱線・転覆の重大事故。網走駅で知りました。

本当に痛ましい事故で亡くなられた方々にはなんとも言えぬ気持ちです。

技術屋にとっては 「スピード違反」で片付けられない また 痛恨の事故。

「ご都合主義のグローバル化 効率化」のつけを何時まで払わねばならぬのか・・・と。

「ついでに・・・」という家内におこられそうですが、春と冬が入り混じる北海道の風来坊を楽しんで帰りました。早春の春をイメージしていたのですが、北のオホーツクは冬 南は早春 両方を楽しみました。

札幌からは四方に夜行特急 早朝特急が出ていて、夜行日帰り 日帰りが出来るので 均一周遊券を買って 風来坊。思いもよらず、行きたかった北の「雪の狩勝峠越と釧路線山見の旅」「釧路湿原に舞う 丹頂」そして南の駒ヶ岳・函館・小樽「北の縄文」を訪ねてひとり「風来坊」

「春今だし」の北海道 「春を告げる福寿草・フキノトウ」や「春の妖精 カタクリ」が ひっそり咲いて、雪解けの山々と共に印象的でした。

ちょっと多いですが、アルバムにまとめましたので 暇な折りにでも。

5 月半ば コールデンウィークのあと 楽しみにしていた後立山連峰が親不知の海岸で 日本海に落ちる糸魚川の ヒスイ峡へ自然の中にある翡翠原石を見にに行ってきました。

ちょっとみただけでは あの薄緑の濃淡「翡翠のカガヤキ」判りませんが、「翡翠」と 「素晴らしい渦巻き紋様の平底土器」の 「越後の縄文」を楽しんで帰りました。

残雪の日本百名山「雨飾山」ほか妙高・アルプスの山も今一番きれいな時。 ウズウズ しながら眺めてきました。 ちょっと 今回は よう まとめませんが 次回にでもファイルします。

北海道から帰ると関西は晴天続き。 あれよあれよと思っている間に庭の花も盛って 春の花も終わり。

今年は春がおそかっただけに 春の花便りから新緑へ 一機の春でした。

北海道は別にして デジカメと地図を片手に あっちへふらふら こっちへ ふらふら

写真整理してから 出かけたら・・・とからかわれています

そんな 4.5 月の風来坊の記録から ホームページ更新しましたので また 暇な折りにでも見てください。

また、「西 アフリカ ペッテ村の井戸掘り募金」お世話になりましたが、きれいな水が得られない雨季に間に合って井戸が完成。きれいな水が得られるようになったとの便り。

http://ohanashimura.web.infoseek.co.jp/ido_bokin.htm#2005.5_ido

写真が「地球おはなし村」のホームページに掲載。 good ニュース ありがとうございます。

いよいよ 梅雨の季節に向かいますが、体調にご留意ください。

2005.6.1. Mutsu Nakanishi

下の写真は 久しぶりに訪ねた京都鞍馬の新緑 新緑をかき分け走る叡山電車 きれいな展望電車になっていました。



京都 新緑の鞍馬山で



鞍馬山へ 叡山電車 2005.5.24.

また 神戸の西六甲縦走路から見る神戸新空港。 来年2月開港もう活用うまいことするかなし。 新神戸駅から10分 布引の滝も新緑の中 久しぶりでした。



神戸 西六甲 d 縦走路より 神戸市街と神戸空港(左奥)

神戸 布引の滝

2005.5.15.

■ JR 尼崎の脱線・転覆事故に思う 会社での技術屋生活を思いだしながら

「最近の世相と「団塊の世代」が作った社会の責任」

黙って 風来坊やっているわけには行かず。ついつい 一言感じているままと綴りました。

北海道へ行っている間に尼崎 福知山線の脱線・転覆の重大事故。網走駅で知りました。

本当に痛ましい事故で亡くなられた方々にはなんとも言えぬ気持です。

技術屋にとっては 「スピード違反」で片付けられない また 痛恨の事故。

「ご都合主義のグローバル化 効率化」のつけを何時まで払わねばならぬのか・・・ と。

私の小さい時から 良く汽車を見に行ったり また遠足や遊びによく乗った福知山線。そして 東海道線を挟んで南側に添って私の職場があったので、余計にびっくり。

事故がおこると常に現場の当事者の「当事者責任」がマスコミと経営者によって語られる。

現場実態経験のない経営者の「無責任な安全対応策」にも頭がくる。

マネージメント・管理者層の安全予知能力のなさ・感度の悪さが アセスメントを言葉だけにして「効率第一主義」に走らせ当事者責任をなくしている のではないか

運転手の技術教育と共に現場を知らぬマネージメント・管理者層の安全予知能力の感度訓練・・・

自動車教習所の「安全予知感度」試験 何点とれるだろうか・・・

国土交通省の ATS 万能論もいただけない。機械は安全レベルは上げるが、使う人の知 力がなければ大事故は防 げない。

「人・物・金」とよく言うが会社にいる間に頭に叩き込んだ『「人」・「設備」・「システム・運用」・「環境」』の解析手法 今でもこれがなければ 実態は出てこない。一つだけ取り上げてもダメだろう。

だって 旧の ATS があって 急停止できるシステムあるのになぜ 速度 オーバーで急カーブ進入したのか 何にも 速度をカーブにあわせて落す新 ATS システムが必要でなし。

カーブでの速度制限標識とブレーキ認識位置 本当にカーブに間に合うの か・・・

130 キロでも大丈夫カーブ曲がれると言っていたのが いつのまにか 110キロ そして70キロを越える猛スピードに

本当に自分の意思でカーブに猛突進していったのだろうか・・・

勝手な疑問は言うまい。でも 機械の怖さ あらゆる側面でそれを操る人の心の問題まで 感じ取らないと安全にはならぬ。

特に今回は現場当事者責任が宣伝されているだけに 管理者の当事者責任をもつとかん がえなおさねば・・・最近特に「ISO の認証システム」でも一番欠けているものとして「経営者の責任」が具体的に認証責任とし

てとらえられている。

体質の改善はヤッパリ ここからだろうと思う。 一日も早い改善と安全運転がはじまることのぞむ。

また 「効率」の前にいつも犠牲になってきた「安全」と「現場の当事者直接責任」

なおざりな「言葉だけの安全第一」からの一日も早いめざめを期待する。

まだ 現役の仲間には 是非 ここだけは「がんばれ!!」とエールを送りたい

やっぱり 当分は、自分で自衛せねばならぬと・・・・・・・・。

「 最近の世相と「団塊の世代」が作った社会の責任 」 黙って 風来坊 やっているわけには行かず。

つつい 一言感じているまを綴りました。

2005.5.25. Mutsu Nakanish

■ 2005 花の春と新緑の西六甲 縦走路



■ 今月のホームページ 概要

1. プロジェクト X「千年の秘技 たたら製鉄復活の炎」と映画「火火」 2005.4.5.

信楽焼の「穴窯」と「たたら」の秘技 炎の美を重ねて

灼熱の窯で起こる炎流の素晴らしさにたたら炎をダブらせて その迫力と過ぎらしさに息を呑んで見ました。



2. 2005 春 桜 アルバム「室生古道に満開の桜古木を訪ねて」 2005.4.15.

満開の桜 関西の桜古木を見たくて、室生古道を歩きました。



3. 函館郊 外の地図にある「鉄山」の地名を訪ねて 2005.4.24.



北海道の地図で以前より気になっていた函館の近くに「鉄山」の地名がある。見に行ってきました。



4. 早春と 冬が入り混じる北の大地を風来坊 2005.4.22.-27.

4月の下旬 冬と春が交差する北海道の大自然 東西南北 勝手気ままな風来坊のWalkを楽しみました。

1. 狩勝峠を越えて「雪の釧路湿原に舞う丹頂鶴 鶴居町 丹頂の里」へ
2. 一足早い早春の駒ヶ岳山麓 栗の巨樹群 森町「茅部の栗林」
3. 函館郊外の地図にある「鉄山」の地名を訪ねて
4. 「北の縄文」を訪ねて【1】 南茅部の縄文遺跡を訪ねて
5. 釧網線の車窓から 釧路湿原・知床の山々を眺めて
6. 「北の縄文」を訪ねて【2】 千歳・小樽恋路・余市へ



5. 糸魚川・青海に 縄文の交易品 翡翠原石の谷を訪ねて 2005.5.17.&18



是非行きたかった糸魚川・青海。

縄文 日本海沿岸交易圏の最大の交易品「翡翠」

その原産地 糸魚川・青海の V 字溪谷に眠る翡翠の原石を見てきました。

この越後の海岸段丘には素晴らしい渦巻き紋様のデザインの平底土器の文化が同時にありました。そして親不知・ヒスイ海岸の海と早春の妙高・後立山連峰の姿 どれもこれも絵になるすばらしい景色。

まだ、きっちり整理していませんが、縄文のヒスイを育んだ越後の自然ヒスイ峡のアルバムを PDF file で仮掲載しました



6. 日本 を追い越してゆくアジアを韓国映画に見る 2005.4.12.

最近の韓流ブーム 元気のいい韓国・中国の町 その発展と日本のかげりをアジアの映画にみる

7. JR 尼崎の脱線・転覆事故に思う 会社での技術屋生活を思いだしながら 2005.5.25

技術屋にとっては 痛恨の事故 そこにある疑問を書いてみました



緑が眼に染みる山口秋吉カルスト台地（左と中央）と 九州英彦山の谷(右端) 2005.6.18.



6 月 紫陽花の花が落ち着いた色合いを見せています

空梅雨の間に山口・北九州・芸北・但馬と新緑の山合いの街を駆け巡ってきました

いかが お過ごしでしょうか おくれながらの「7 月のホームページ更新」の便りです

7 月になって いままでの空梅雨を取り戻すかのような集中豪雨がつづいて、

テレビのニュースが、激しい雨を伝えています

常識が通用しない時代を象徴するような梅雨

時代のスピードにせかされながら、押し流されぬように考えないと・・・・・・

私の方は相変わらず風来坊、あっちへ行ったり、こっちへ来たり

ぶつぶついいながら元気に過ごしています

2005.7.10. Mutsu Nakanishi

■ 空梅雨の間に山口へ 2005.6.15.-20.



新緑の秋吉カルスト台地 2006.6.18.

6 月空梅雨の間に草抜きを口実に山口へ 1 週間 新緑の山里を楽しんで帰りました。

久しぶりの秋吉カルスト台地は緑におおわれ、緑が眼にしみた素晴らしい景色。

また、山口の仲間に出て、飲んで、温泉に入って・・・・・・

ええ加減に山口の家たためと言われるのですが、神戸とは別にもうひとつの場があること本当に楽しみです。

● 山口を基地に初夏の緑を風来坊

九州の名峰 英彦山に登ってきました。そこで見た「鬼杉」。世に巨樹はおおいのですが、胴回りの大きさと共に見上げる高さにただ唖然。さすが 修験の山 山の急峻さに加え、巨樹が林立する原生林にもビックリでした。 まだまた、面白い山あります。

また、広島県の北 太田川が流れ下る中国山地の町「加計」 江戸期 たたら製鉄で栄えた鉄の街。

切手にもなったたたら絵巻「加計隅屋鉄山絵巻」を訪ねてきました。

現物はみれなかつたのですが、15メートルを超える長さの絵巻のパネルが民俗資料館に在りました。

まるで北斎漫画を見るごとく 江戸期の「加計 和鉄の道」で働く人達が活き活きと描かれていました。

今は静かなひっそりした街道筋。でも 街の中に現役の鍛冶屋があり、トツテンカンの音が街に響き、「石見神楽」の道具を作っていました。

思いもかけないことがほかにも在りました。これも「和鉄の道」歩く楽しみです。



芸北のたたら街 広島県 加計

九州英彦山 鬼杉

山口へ行く途中 立ち寄った中国山地 芸北のウッドワン美術館で 今年6月東京のオークションで3億円で落札されたルノワール「婦人像」の2点の搬入・荷解き・仮展示に出会い 見てきました。

それも 立ち会ってみているのは10人たらず。もう 我が物。

すごい絵が荷解きされて 目の前にある。こんな経験二度となし。

広島から1時間ちょっと 山の中のウッドワン美術館

ちょっと遠くてへ便利悪いですが、世界の名品を落ち着いてじっくり楽しめるお勧めの美術館です。



広島県吉和 ウッドワン美術館

今月はそんな山口へ行ったときの風来坊の Walk をまとめました。

● 半年で庭は自然帰り 野草が一面

また、山口の草抜きもしっかりやってきました。 こっちも驚き。

山口の家の庭を見てビックリ。 ほんの半年なのですが、今までになかった山の草付きの斜面などに生えている雑草がびっしり。もう山口の家を離れて5年。毎年数回帰って しっかり草抜きしていたのですが、こんな具合に山の雑草がびっしりなのははじめて。

飲み仲間いわく 「そら 自然帰り」やと。

ひと気がなくなって、庭の土壌もどんどん自然帰りして、自然の雑草が一気に自分たちの出番と思ったのだと。

目の見えないところで、進行する自然の変化 眼に見えるようになってはもう遅い
付け焼刃ではどうもダメらしいのはなんでも一緒である。



びっしり茂った雑草



草抜き前



草抜き 後 2005.6.18.

「庭が自然に帰る」など思いもよりませんでした、自然の治癒力というか生命力を考えさせられました。
付け焼刃的にとにかく草抜き。2日かかりですませたのですが・・・・

草抜きにうんざりしながら、 眼にしみる秋吉カルスト台地の新緑を思い出す。

「この庭 雑草が緑の時はきれいやったやろなあ。その時をみたかった」と。さあ どんな手をうとうか……

■ 最近の市町村合併 新地名にとまどい 「雲南市」 ??

「雲南市」って 知っていますか ???? 最初 見たときには 中国雲南省の町かと

島根県の東部奥出雲に位置する「大東町 加茂町 木次町 三刀屋町 吉田町 掛合町」の6町が昨年11月に合併して発足した市。同県で唯一海に面していない市で、市名は旧出雲国南部に位置することによるという。

奥出雲のたたら製鉄・石見神楽などなじみの町である。

最近 知らないところへ出かけると戸惑うことが多い。新しい市と旧町の名前が入り乱れてややこしい。

町村合併で市が新たに誕生した場合はまだしも、合併してもそのまま町の場合は旧町名と新町名が入り混じって益々ややこしい。

そこに住む人達が、まだ、新しく誕生した町になじんでいないためか 旧町の役場や組織をそのまま支所として残して旧役場の名を使わないと生活が動かない。それぞれが固有の歴史・文化を持ち、ましてや、山や谷・川が境となって、生活圏が異なる町がいっしょになっているのだから、なおさらである。

北海道 函館市と合併した南茅部の町の場合も同じ。

「北の縄文 茅部町」が突然「北の縄文 函館」になったのである。

元の函館の人にとっては「そんな事知らんよ」であろう。函館の市街から ほとんどひと気の無い山を越えねばならず、バスも数本 まあ 国で言えば 連邦国家みたいなものであろう。

先日訪れた加計は加計町・戸河内町・筒賀町が一緒になって「安芸太田町」隣の豊平町は千代田町といっしょになって「北広島町」 町の人達やその地の標識はみんな旧町名のまま。

一方 観光・カーナビ・道路地図では新名称で簡素化が進み、旧町名など載っていない。しかも 今まで使ったこともない新市名が落下傘のように下りてくる。

兵庫県の豊岡市の場合 豊岡市に出石町 日高町がひっついて新「豊岡市」

外から見ても 歴史的に異なる背景を持つ出石・日高が豊岡市といわれても・・・・である。

どうやって このそれぞれ固有の文化・生活圏と全体を調和するのか・・・・

きっちりした歴史の重みを加えないと全く何も残らなくなってしまうと思うのですが・・・・

地名は文化・生活を知る上で本当に重要な手がかりであり、それを頼りに歴史を掘り起こすことが多い。それが 忽然ときえてしまい、もう歴史には登場しないのである。



今 自動車社会の急速な進歩の中
道路地図 カーナビなどの地図が
全盛。でも 地図が簡略化され、
地図からどんどん地名が消えてい
る。 町で買う道路地図 インタ
ーネットの電子地図 詳しいよう
で多くの地名が消えている。それ
に拍車をかける大合併と新市名の
登場である。



町史さえ きっちり整備されないままの合併となるともう断絶に近い。

国土地理院の地図だけが頼りになり、そこに住む人さえ その地のルーツがわからなくなる時代が近い。
地名だけではない。 合理化・相互交流と融合のもとに猛烈な素人集団が町の行政を担って、合理的・効率
的サービスの名前ですすんでゆくのでないか・・・・・

日本の大企業が引き起こした素人集団のまったく現場把握を知らない管理の構図が町に到来しようとしている。

何を残し、何を切るのか・・・・

箱物・物量から 質への転換 効率化・合理化ゆえに人の連携の質の強化など行政のプロの意識が逆に一
番求められるときであろう。地方分権の柱としての大合併 思想がないと益々ドツボの世界のような気がし
てならない。

ガイドブックやカーナビにのせられて、そのとおりにしか歩けない。そんなことを最近特に感じています。

そんな中に 歴史も文化もまいぼつしてしまうのか

鉄道の旅も同じですが、地図をみて、色々考える楽しみが随分減っているなあ とつくづく感じています。

2005.7.5. Mutsu Nakanishi

■ ホームページ 更新

今月は山口に出かけた風来坊の旅 そしてまとまっては居ませんが 今一番不思議に思っている野たたら
のプロセス そして プレたたら時代 など垣間見たことをまとめました。

書き始めるとあれもこれも そして とらべ直すと次々と疑問も出て・・・・・

ついに更新が7月10日になってしまいました。

でかけるとその土地土地で知っているようで 知らなかつたこと発見の連続で 理屈なしに風来坊をたのし
んでます。

私が生まれ育った尼崎 阪神工業地帯の中核「鉄の町 尼崎」

そんな尼崎の古代 大和王権成立の前夜に 「古代の鉄の町」があった。

尼崎の北部 古代の海岸線 猪名川の河口 若王寺製鉄遺跡を訪ねました。

ウツドワン美術館の名品について 語る家内に偶発されて こっちは 中国山地の山の中 古いたたらも判
るかも・・・・とでかけたのですが、TV が伝えるルノワールの名画 まさか落札された荷姿そのままにみら
れるとは・・・・・です。

また 九州の名山 英彦山で出会った とてつもないビッグな杉「鬼杉」

もうただただ 啞然として 見上げるばかりでした。

中国山地芸北のたたらを中心地 加計 太田川が流れる落ち着いた静かな町

広島町のこの芸北のたたら 砂鉄採取の鉄穴流しなど 太田川を流れ下る土砂によって 江戸期に急激に
出来た町 これにもビツクリ。

産鉄の神 天日槍としあわせはこぶコウノトリ 大陸から日本 但馬へやってきて。

天日槍の昔 そしてコウノトリの今 壮大な自然を変える壮大なプロジェクトがこの但馬の地で進む

今月 掲載しませんでした。6月山口吉敷に「萩焼 陶房 葉月」の田中講平先生を訪問。
飲みながら夜遅くまで語り教えてもらった萩の窯 灼熱の窯の中の還元と酸化の計算された技と神秘。
陶芸の窯とたたら炉 昔 そのルーツは同じでなかったか・・ぼくも 閃光と肌光 灼熱の鉄と黒鉄 を語
って。ますます 歴史を語る鉄が面白くなっています。
雑多な誤字だらけの雑文ばかりですが、折りあれば、お付き合い ご教示ください。
次の更新 2005.9月にさせていただきます

2005.7.10. Mutsu Nakanishi

◆ 今月のホームページ 掲載記事 概 要

今月は山口に出かけた風来坊の旅 そしてまとまっては居ませんが 今一番不思議に思っている野たたら
のプロセス そして プレたたら時代 など垣間見たことをまとめました。
書き始めるとあれもこれも そして とらべ直すと次々と疑問も出て・・・・・
ついに更新が7月10日になってしまいました。
でかけるとその土地土地で知っているようで 知らなかったこと発見の連続で 理屈なしに風来坊をたのし
んでます。

1. 青森山内丸山縄文遺跡から出土した漆製品とその赤色顔料

沼鉄(パイプ状酸化鉄)と赤色チャート(粘土質微粒酸化鉄)

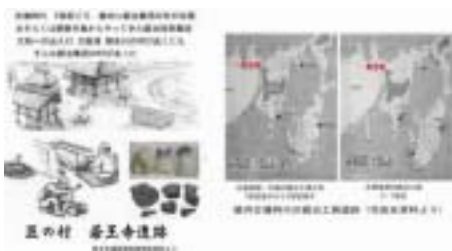
「縄文の赤」を彩った酸化鉄顔料に「古代鉄」のルーツを思う



三内丸山遺跡から出土する真っ赤に彩色された土器・漆器。
それらに使われている赤色顔料に大昔沼に生える植物の根に吸い寄せら
れ、根の周りに堆積したパイプ状の鉄「沼鉄」が使われていた。
たたら製鉄が始まる前 プレたたらの原料ではないかと思われる褐鉄
鉱・水酸化鉄「高師小僧・鬼鉄」と同種のものです。
縄文時代にすでにこの「高師小僧・鬼鉄」と同種の「沼鉄」が貴重なも
のとして認識実用化されていました。

2. 古墳時代 畿内の先進鍛冶工房集落 若王寺遺跡 探訪

--- 尼崎市 若王寺遺跡 界隈 Walk 2005.6.8. ---



私が生まれ育った尼崎 阪神工業地帯の中核「鉄の町 尼崎」
大和王権成立の前夜に 古代の尼崎にも 「古代の鉄の町」があっ
た。鉄器の大量実用化が始まる「鉄の時代」をリードする先進鍛冶
工房があった」
高校時代に良く行った界隈 昔を思い出しながら 古代尼崎の海岸
線 猪名川の河口 若王寺製鉄遺跡を訪ねました

3. 中国道 広島県吉和 緑の高原に世界の名品が揃うウッドワン美術館 2005.6.17.

--- 話題となったルノワールの名画「婦人」2点の搬入を見る ---



山口へ行く途中に立ち寄った中国山地 芸北のウッドワ
ン美術館で 今年6月3億円で落札されたルノワール「婦
人像」の2点の搬入・荷解き・仮展示に出会い 見てき
ました。
それも 立ち会っていているのは10人たらず。もう
我が物。すごい絵が荷解きされて 目の前にある。
こんな経験二度となし。

また、ゴッホの「農婦」・明治の洋画・日本画の大コレクション そしてアールデコ「ガレのガラス工芸」など どれもこれも名品である。

広島から1時間ちょっとで 山の中のウッドワン美術館

ちょっと遠くてへ便利悪いですが、世界の名品を落ち着いてじっくり楽しめるお勧めの美術館です。

4. 山岳宗教の歴史を秘めた九州の霊峰「英彦山」 2005.6.19.



九州の名峰 英彦山に登ってきました。そこで見た「鬼杉」。世に巨樹はおおいのですが、胴回りの大きさと共に見上げる高さにただ唖然。さすが 修験の山 山の急峻さに加え、巨樹が林立する原生林にもビックリでした。

5. 「加計隅屋鉄山絵巻」と加計・豊平町周辺の製鉄遺跡を訪ねて 2005.6.20.

---江戸時代 広島藩を支えた鉄の道「芸北 加計のたたら」---



中国山地芸北のたたらを中心地 加計。太田川が流れ、落ち着いた静かな町 加計・豊平町にたたら遺跡を 訪ねました。

切手にもなった たたら絵巻「加計隅屋鉄山絵巻」15メートルを超える長さの絵巻のパネルにまるで北斎漫画を見るごとく 江戸期の「加計 和鉄の道」で

働く人達が生き活きと描かれていました。

また、広島町の江戸期のこの芸北のたたら 砂鉄採取の鉄穴流しなど 太田川を流れ下る土砂の堆積でできた町 これにもビックリでした。

6. 但馬 天日槍の国とコウノトリ を訪ねて 写真アルバム 2005.6.23.

--- 大陸から幸せ運ぶ「コウノトリ」と「鉄の技術を持ってやってきた天日槍」 ---

産鉄の神 天日槍としあわせはこぶコウノトリ

大陸から日本 但馬へやってきて 天日槍の昔 そしてコウノトリの今。

この但馬の地で壮大な自然を変える壮大なプロジェクトが進む。そんな但馬探訪のアルバムです

また これがほんとうなら 4世紀の砂鉄にも出会いました。

但馬のたたらについてはもう少し調べてからにします。°



7. 四季折々 7月

- 空梅雨の間に山口へ 山口を基地に初夏の緑を風来坊
- 最近の新地名にとまどい 「雲南市」って 知っていますか ??

ひまわりの夏 2005



暑中お見舞い申し上げます

集中豪雨の梅雨が明け、暑い暑い夏到来 遅れていたひまわりも大きな花を咲かせました。

一夜にける「月下美人」も開花と香りのショウでした

2005.8.1. 神戸にて Mutsu Nakanishi

まだまだ蒸し暑さの残る夏ですが、せみの声に眼を覚ます毎日

元気に足の向くまま 気の向くまま 夏を楽しんでいます

前々から探していた人工衛星からの地形図が google 地図検索サービスで見られるようになって、今 インターネットの google の地図検索サイトにはまっています。 この地図検索サイトでは、日本全国を含む世界各地の通常の地図と同じ位置の地形図の衛星写真が切り替えで同時に見られます。

残念ながら 衛星写真が少し古く 今日 今の写真でないのと解像度が少し低く 100M 四方程度の識別しか出来ませんが、いろんな地形図川の流れや山脈を挟んだ街など面白い。

自宅の位置も 秋吉台・美祢の宇部興石灰石の大露天掘りもくっきり。

先月掲載した「天日槍の但馬 豊岡・出石」 円山川の河口が豊岡のイメージでしたが、しっかり盆地で、出口を開いた天日槍の伝説 そのままに狭い岩戸を円山川が日本海に出ていました。

大山 富士山も素晴らしい裾野を海岸までひろげ、富士山の火口もくっきりです。

地図の好きな人にはお勧め。一度 下記のサイト クリックください

● google マップ <http://maps.google.com/>

岡山県津山の南 中国山地の山裾 行基さんが生まれた誕生川流域周辺は古代吉備の大製鉄地帯

5 世紀後半から 6 世紀 日本で製鉄が始まった候補地の一つ 今はその谷間に素晴らしい棚田が広がっていました。

朝鮮半島・中国と大和の鉄の

交流の中で、激動の 3 世紀と呼ばれる邪馬台国の登場 そして 鉄の 6 世紀大和王権の成立へ 「鉄の流れが古代史を解きほぐす」そんなことを 思いながら 今 出雲・吉備と大和・河内の関係に興味津々。



9 月には ホームページ更新して、そんな話を追加しようと思っています。

まだまだ 暑いのはこれから 健康にご留意ください。

2005.8.1. 神戸にて Mutsu. Nakanishi



9月の神戸から ホームページ更新の便りです。

今年の夏はいかがでしたでしょうか・・・

暑い暑い夏に閉口していましたが、あっというまに過ぎていってしまいます。

朝夕めつきり、涼しくなり、うるさかったセミの声も聞かれなくなり、夏の終わりの景色があちこちで見られるようになりました。

あれもしたい これもしたいと思いながら、この暑いのに・・・結局 ふらふら風来坊

先日でかけた湖北／若狭国境の三国山・赤坂山の稜線にはススキの穂が涼しい風にゆれ、山を越えるトンボが舞い、見下ろす湖北平野には借り入れを待つ稲穂がゆれていました。

この夏 青春18きっぷ片手に 古代 たたら製鉄初期の郷 湖北・吉備そして北河内を訪ねました。

山陰では是非行きたかった鳥取県青谷上寺地弥生遺跡にも

新しい情報をとと思うのですが、続けることがとりえ 相変わらずです



富山県 越中八尾 「風の盆」 2005.9.2.

9月1～3日 八尾の町に夜通し越中おわらが踊られました

9月2日夜 越中八尾「風の盆」 哀調を帯びた胡弓の音に見せられて行ってきました

喧騒の収まった八尾の街に「おわら」の音が流れ、夜明かし。 実りの秋の訪れです

2005.9.5. 神戸にて Mutsu Nakanishi

◆ 青春18きっぷで 夏のあちこち 風来坊



家内にけしかけられて7月の末 2005 夏の JR 「青春 18 きっぷ」を買いました。

春・夏・冬休みにそれぞれ売り出される切符である。

7月20日から9月10日までの期間 JR の普通列車に限り、5回一日乗り放題で11500円 一回あたり、2300円で何処でも行ける。

今年の夏は これを使って 平日の風来坊の旅 鉄道の旅を決め込もうと・・・・・・・・。

週末しか出かけられないサラリーマン時代 特急や新幹線は普通乗車券含めて全部買わねばならず、普通列車しか乗れない窮屈さに使ったことなかったのですが、

一度使って見たかった切符で、この1ヶ月 あっちへふらふら こっちへふらふら 和鉄の道を楽しみました。

- ◆ 湖北 天女伝説の余呉湖を訪ねて 琵琶湖一周
素通りの湖西線と北陸線の合流点 近江塩津駅も降りたいし、また 若狭・湖北の国境の赤坂山へも・・・・・
- ◆ 吉備の国「真がね吹く 吉備の中山」 中山に登って 吉備路を歩こう
そして 再度 カナク口谷から鬼の城に登って 吉備を見るのもよし
- ◆ 古代 大和王権黎明の鍛冶工房 北河内 私市 森も近いようでいけてない
- ◆ 津山の中国道沿いの古いたたかも是非確認したいし、その奥の奥津 そして 鳥取日本海の海岸へ
大和と北九州がいつも取り立たされるが、山陰が日本誕生のキー
- ◆ 神話の世界が現実に ベールを脱いだ山陰の鉄
実用鉄器で鉄の時代の幕開けを告げる鳥取県の妻木晩田・青谷上寺地
- ◆ 伊吹 美濃の街道筋を通して 関にも・・・・・
- ◆ メールもらった鹿児島知覧の石垣たたらを見て 開聞岳へも まだ 実現せず・・・・・
- ◆ 北陸 九頭竜川・加越のたたらを見て 富山へ・・・
そして 立山から黒部へアルペンルートのWalkも
- ◆ 9月のシメは「越中八尾 風の盆」 真夜中に行って ふらふら帰るか・・・・・

次々とゆきたいところのルートマップが浮かんでくる。

時刻表買って 色々調べるのですが、普通電車だけの旅 日帰りではもうほんとうに遠くへいけなくなりました。新幹線・特急使うと本当に遠くまで日帰りできるのに・・・・・です。

勝手気ままな 一人旅 上記の幾つか 実現 一部 和鉄の道探訪として掲載。 また 少しずつ 整理します。

この夏 歩いた青春 18 きっぷの旅の写真を一部掲載します

(鳥取県 青谷海岸へは どうしても 普通電車では便悪く 車で家内と出かけ、中国山地を津山に抜けて帰ってきました。)

■ 2005夏 青春18きっぷ 普通電車日帰りWalk 写真アルバム

和鉄の道 古代の鉄の足跡を訪ねて

● 北河内 古代 物部氏の鍛冶工房集落 森



北河内 古代 物部氏の鍛冶工房集落 森 と 天の川伝説 の 私市界限

大阪府 交野市 2005.7.27.

● 出雲で青銅器が埋められた後 忽然と因幡国の西端 青谷に現れた先端技術の港湾都市
青谷上寺地弥生遺跡



青谷上寺地弥生遺跡 2005.7.28.

鉄の道具で加工された数々の木製品・骨角品・土器など鉄の時代到来を告げる「国」のさきがけ
ここで 弥生人の脳みそが そのまま残った頭骨が3つみつかった



● まがね吹く 吉備 吉備 walk



まがね吹く 吉備 吉備 walk 「真金吹く吉備の中山」 岡山県総社 2005. 8.4.

その「中山」は古代山陽道 瀬戸内海岸景勝地 桃太郎伝説の吉備津神社が山裾にある
背後の中国山地は「真金吹く」古代吉備の大製鉄地帯



まがね吹く 吉備 吉備 walk 津山周辺の古代製鉄遺跡を訪ねて 2005.7.28.& 8.4.

大蔵池南製鉄遺跡は古代 初期たたらの遺跡

また 吉井川の分流 誕生川に残る古代製鉄遺跡群には物部氏の足跡が残るという

● **湖北のたたら遺跡を訪ねて 滋賀県木之本町&余呉**



天女の通う道は鉄の道 (2) 湖北のたたら遺跡を訪ねて 滋賀県木之本町&余呉 2005.8.5.

賤ヶ岳から見る余呉湖 & 日本で最も初期のたたら遺跡のひとつ 古橋たたら遺跡

湖北 海津大崎周辺の山には古代鉄鉱石があり、大和王権初期の製鉄はこの鉄鉱石が原料といわれる
近江は鉄の国 湖南瀬田・南郷丘陵には源内峠や木瓜原・野路小野山製鉄遺跡 湖北にはマキノ・浅井などの
製鉄遺跡群 多くの渡来人の郷が琵琶湖を取り囲む



● **湖北 古代鉄の郷 マキノ の北の壁 赤坂山・三国山の連山**



湖北 古代鉄の郷 マキノ の北の壁 赤坂山・三国山の連山

この山を越えると福井県若狭 嶺南地方である 2005.8.29.



観光地をめざさなくとも 乗っているだけで楽しい鉄道の旅

僕みたいな青春18キップ一枚握りしめた中年や学生グループ 夫婦連れ 随分多いのにもビックリしました。自分だけでなく 数多くの御仁がいること発見しました。

使ったことなかったんで、このキップの使い方知りませんでしたが、みんな工夫して思い入れの一つや二つあるキップだと仲間から聞きました。

日帰りのできるだけ遠くへとか・一日一筆書きの旅・2日ばかりでできるだけ遠くへとか

1枚のキップで何人でもOKなので、グループやご夫婦で使ったりとか

暑くて 暑くて閉口しましたが、思いも寄らぬことに出会えて、面白い青春18きっぷ walk でした。

また 「朝鮮半島の渡来人から北九州・山陰そして 中国山地を越えて吉備・播磨そして河内・大和へ」 神話・伝承ばかりの世界と思っていましたが、和鉄の道が現実味を持って繋がったのも収穫。

面白い鉄の日本史が見えてきて ひとりでよろこんでいます。もっとも 首かしげる妄想かも。。。。

遠くや快速電車のない内陸側を目指すのなら「できるだけ早起き 夜中に帰る」。これでないと無理というのが私の実感。もう 路線はズタズタで東海道線側の快速・新快速電車が走っている区間だけが便利良くて、外れるとよっぽど 調べてゆかないと。。。。

また、地方の足はもう鉄道ではないこと 風来坊では目的地まで厳しいことなど 実感しました。

中核都市の駅前が繁盛するのと裏腹にかなり大きな地方都市までも衰退している現実

地方で地方活性化叫んでも届かぬ現実ありありとデス。

でも やっぱり 特急券 急行券だけで乗れる切符とか、JR 東日本の新幹線含めた安価な週末フリー切符みたいなキップほしいですね。そしたら 行動半径が一気に関西から九州 北陸・信州に広がるのですが。。。新幹線 もうけすぎではないのか。。。。と逆に思ってしまいます。

さあ スローライフとスピードの先端社会と どんな調和を目指すのか 旅一つとっても 揺れ動いています

少しづつ整理して、「和鉄の道」ホームページに掲載できればと思っています。

9月10日まであと一回残っています。

さあ どうしようかと。。。。

2005.8.31. by Mutsu Nakanishi

◆ 縄文がえりのすすめ

巷では「相手を抹殺する刺客」だの「相手の存在を許さぬ二者択一」「弱肉強食」と世は「劇場型選挙」と面白がっている。

「多数派と金」が力の源泉と 自分も属していると思っている多数派から急に少数派へ

そんな立場の変化へ容赦のないパッシングの激しさ

劇場型とか 劇画的 マンガチックといつてばかりは居られない

明日はわが身 「誰も振り向いてもくれない、金もない」 不安感が万円する世相

「いやなら 出てゆけばよい」というが、「いったい どこへ 行けというのだろうか」

その先には「たらいまわしの無責任な現実」が日常化しているというの。。。。。。。

言葉では 「ハードから ソフトへ 量から質へ 同質化から多様化へ 情報管理からオープン化へ 効率化からスローライフへ」と心地よいスローガン

でも この言葉を口にする人の蔭に 「エリートにとっての」の言葉が隠されていると見るのは余りにもひねくれすぎか。。。。

イラク戦争 パレスチナ紛争が益々出口がなく、救いのないテロの嵐 戦いの中で憎しみが憎しみを生む この連鎖をどのように断ち切れれば良いのか。。。。。

世界を風靡したアメリカ流というか ブッシュ流の論理が破綻を来たし始めている。

世界では「和」の精神への評価が高まっているという。

「モットイナイ」精神や「戦いを解決の手段に選ばぬ平和憲法。 あいまいではっきりしない日本等々。
パッシングされつづけ、日本人が片隅に閉じ込めようとしているこの言葉。
この現象をどう見ればよいのだろうか・・・・・・
日本は極東の言葉に象徴されるごとく、大陸の端のしかも絶海の孤島。
むかしから、その時代時代に何度となく 多くの人たち 動物・植物までもが、数多く大陸より渡ってきた。
ここより先にもう行くところなし。この最後の楽園にむかって・・・・・・。
ここで共生するしか生きる道無し。もう ほかには行くべき所無し。
そんな思いが、戦いはあったにせよ、殺戮の歴史を阻んできた。
「和をもって貴し」 動植物に限らず、共生の道を選択せしめたという。

そういわれてみると

「和をもって貴し」 聖徳太子の憲法 17 条
「戦いを知らなかった縄文人」 「縄文・弥生人の相互同化 大和王権も国譲り」という。
人間のみならず、針葉樹から、広葉樹まで日本の多種多様な植生。
「鬼 鬼」と嫌う一方 「鬼のしぐさ」に親しむ
機械・ロボットにまで、名前をつけ、愛情を注ぐ
これらが、日本噴火・精神の奥行きと価値を産む
中国・朝鮮半島 地理的には近いが、気風となると随分違うようだ。
そんな中での選択肢。
世界の眼の中で、最近の風潮を感じるにつけ、日本人がもっと意識してよいのではないのでしょうか・・・・・・
先日亡くなったローマのヨハネ 3 世の葬儀に集まった世界の多くの若者の感受性に、新鮮さを感じています。
対
照的に逆の極を目指す日本。いつ 転換点がおとずれるのでしょうか・・・・

2005.9.5. 劇場選挙に 一言
Mutsu Nakanishi

この他 天女伝説・継体天皇の湖北にも行ったのですが、まとまっていないので 次月です。
「和鉄の道 たたら遺跡探訪」も 60 編を越えました。
今月のホームページの更新は青春 18 きっぷを持って歩いた「和鉄の道 古代 和鉄の道」について、整理できたものから 3 篇を掲載しました。
山や里歩きの道ずれにと意識して歩き始めて 10 年になり、「和鉄の道 たたら遺跡探訪」も 60 編を越えました。 日本各地のたたらの中の写真集 フィールドに行ってみることだけ Walk 集なのですが、これだけ集まると探訪記とはまた違った見方でたたらのお話が集まっているのではないかと

そんな事考えながら このたたら遺跡探訪記を中心に 「たたらよもやま話」のタイトル書き出してみました。 勝手な作り事で あってるかどうか分かりませんが、たたらのお話の参考になれば・・・・・・
時間が取れば、少しづつ書き溜めようと思っています。

2005.9.5. by Mutsu Nakanishi

◆ 今月のホームページ 掲載記事 概要

1. 弥生時代後期 北九州と並ぶ鉄の先進地「山陰」

生の博物館 青谷上寺地遺跡を訪ねて鳥取県鳥取市青谷町



現実に古代初期の先進地北九州と本州各地との間にある山陰で大量の実用道具として「山陰の鉄」が出てきたことで、神話・伝承の世界出雲・山陰が本当に現実の世界で大きな役割を演じていたことが理解できるようになったと思っています。

山陰の青銅器文化の終焉を告げる神庭荒神谷・賀茂岩倉遺跡での「大量の青銅器 謎の埋蔵」の後 忽然とまるで国の萌芽でもあるかのように山陰海岸の入り江の奥に忽然と鉄の文化を持った妻木晩田や青谷上寺地の弥生後期遺跡が現れる。

本州で大量の鉄が使われだす先駆けで、まだわずかししか発掘されていない上寺地遺跡はこれからもつと多くの「山陰の鉄」のベールをはぐに違いない。

骨に銅族の突き刺さったままの人骨や数々の殺傷痕のある人骨の出土は丁度 卑弥呼邪馬台国成立前の「倭国の大乱」に相当する時期であり、これがその痕跡という人も居る。この当時の弥生人の脳みそも出土したという。

青谷上寺地遺跡は出雲神話の出雲に隣接して 先進地北九州・大陸と大和を結ぶ中間点 しかも「鉄」の朝鮮半島から直接海を渡れる場所である。

出雲と吉備・大和を結ぶ大和王権中枢軸が浮かび上がってくる。

そんな思いで 鳥取県青谷海岸の上寺地遺跡を訪ねました。

2. 北河内の古代の郷 肩野物部氏の本拠地 交野界限 walk

大和王権を支えた鍛冶工房 森製鉄遺跡を訪ねて 大阪府交野市 JR 学研都市線（片町線）河内磐船駅周辺



北河内 古代 物部氏の鍛冶工房集落 森 と 天の川伝説 の 私市界限 阪府 交野市 2005.7.27.

大和王権成立の初期 畿内で大和王権を支えた幾つかの鉄鍛冶工房 そのひとつ 生駒山の北端 北河内交野市森 の鍛冶工房遺跡を訪ねました。

以前から大きな鍛冶工房集落として気になっていましたが、つい最近 それが「天の川伝説 星の町 私市」の山裾にあり、物部氏の 始祖「ニギハヤヒ」が舞い降りた「磐船」であること知りました。私には 河内というと地理的にはもっと南の大和川よりで、淀川の直ぐ傍 枚方市（茨田の 里）や交野市を北河内というなどビックリでした。

遺跡そのものは全くなく 古代の鉄の工房など忘れられた存在でしたが、知らなかった古代の北河内 そして物部氏と鉄のつながりの具体的な郷が見れて出雲から大和三輪山への鉄の道をあれこれ 想像して楽しん

でいます。

3. 2005夏 青春18きっぷ 普通電車日帰りWalk アルバム 和鉄の道 古代の鉄の足跡を訪ねて



4. 四季折々 9月

1. 青春18きっぷで 夏のあちこち 風来坊
2. 縄文がえりのすすめ
3. 「和鉄の道 たたら遺跡探訪」も60編を越えました

【参考】 Mutsu 鉄の話 あれこれ 「Iron Road 和鉄の道」より
(タイトルのみ 内容は「Iron Road 和鉄の道」の中から あたってみてください)

1. 鉄・たたら言語源 鉄に関する言葉の周辺で
2. 「かわりばんこ」
この言葉はたたら製鉄からでた言葉です
3. 「鉄鋼は剛柔にして その態を変える」 「韻鉄・鉄・鋼・銑鉄」
鉄と炭素の結びつきが作る鉄の神秘が鉄を「五金の王」にする
4. 金属の中で「鉄」だけが酸化すると融点が下がる
それが 融点の高い鉄の直接製鉄・たたら製鉄を可能にした
5. 日本刀を鍛える 日本刀鍛錬の技術はハイテクの先端技術
ナノ結晶に迫る微細化と熱処理
6. 蝦夷の武器「蕨手刀」が日本刀のルーツ
突く「剣」から切る「刀」へ
7. 「現代の鉄」がすぐにサビるのに「たたら鉄」は1500年を経
過して 今もまだ残っている。
8. 鉄自立の謎
古代大陸・朝鮮半島との密接な交流が続くのに1000年かかった
鉄の国内製錬
9. 近世のたたら製鉄
鉄穴流しが出雲平野や広島・赤穂の市街地を作った
10. 不思議な形の鉄
芦原と沼地が作った「高師小僧」「鬼板」「鳴石」
岩手県北上山地の川にゴロゴロ丸い「餅鉄」
各地に残る「お鈴」「ササ」の神事は鉄の名残か
11. 岬の沖を通る船の羅針盤が狂う「磁石石」
そんな岬が何箇所か日本にある
12. 紀伊国屋文左衛門のみかん
江戸の鍛冶屋の祭「鞆祭」に台風を突いて江戸へ
13. 「鬼は悪者か」 鬼伝説と鉄との結びつき
津軽鬼沢では「鬼の里」を誇り「福は内 鬼も内」
鬼沢ねぶたが弘前の街をねる
「あの高嶺 鬼住む誇り・・・」と北上市の市民憲章は歌う
14. 蝦夷の総大将「アテルイ」と坂上田村麻呂
京都清水寺にアテルイの碑がある
岩手県民が作った市民アニメ「アテルイ」
15. 羽衣伝説と鉄 天女の通った道は鉄の道
16. 北播磨 千種は製鉄神降臨の伝承地
古代「鉄」の渡来神・出雲神 中国山地を舞台には数々の伝承
が語り継がれている
17. 三輪山は鉄の山
卑弥呼の邪馬台国は朝鮮半島からの鉄の移入を支配した????
18. 山陰の鉄
弥生後期 鉄の時代を告げる青谷上寺地遺跡の人骨に残る殺傷
痕は倭国の大乱の名残か
19. 九州北部 筑後・菊池川流域に残る装飾古墳
渡来の鉄の技術集団の足跡か
20. 日本各地に「鉄山」と名のつく山がある
また「鬼」の名のつく山はもっと多い

11 月の神戸から ホームページ更新の便りです。お元気でしょうか・・・

早く更新したいと思いながら あっという間に秋も深まり、紅葉の便り。

関東ではもう 奥日光や安達太良の素晴らしい紅葉が TV に写っていますが、関西はこれからです。

一方 10 月中旬 訪れた南薩摩のあぜ道には珍しい「黄色の彼岸花」が満開でした。

色々びっくりするようなことが 起こっていますが、そんなことにも反応できる気持ちを持ち続けたいと思っています。

2005.11.5. by Mutsu Nakanishi



薩摩半島 開間岳・知覧の里には珍しい黄色の彼岸花 2005.10.12.

念願の開間岳に登り、友人が教えてくれた知覧町 薩摩の石組みたたら炉群を見てまし

10 月半ば 山口 そして 鹿児島へ行ってきました。

南薩摩の WALK 念願の開間岳に登り、薩摩のたたら遺跡を訪ねました。

今まで知らなかった薩摩の鉄 そして それを育んだ壮烈な火山噴火。

薩摩は「火の国・ 鉄の国」であること知りました



また 山口の萩焼 陶芸家の田中さんのギャラリーが完成。お祝いに出かけました。

屋根を含めて外装すべてが、カラー鋼板の色鮮やかなギャラリー。

これは 現代の鉄のモニュメント うれしくなりました

展示された田中さんの「萩」と山口吉敷の郷の四季と

がよくとけあった素晴らしい空間が演出されていました

自然の流れを感じる落ち着いた「田中さんの萩」 「和」も「洋」も一層映えています



萩焼「陶房葉月」 田中講平氏のギャラリー「GALLERY HAZUKI」

鉄屋の僕には予期せぬ鉄のモニュメント出現と陶芸家 田中さんの眼力にバンザイです。

うれしくなって 夜遅くまで飲みました

芸術の秋 もし 山口に出かける機会あれば

伝統の萩の「和」と新進の萩の「洋」 「田中さんの萩」を是非 お訪ねてください

また 日曜日の下関唐戸市場を久しぶりに訪れましたが、日曜日は卸のいちがたたず、コーストタウンのよ

うな暗い市場に人があふれていました。いろんなビジネスのやり方あるなあ・・・と感心。
それから 「かわはぎ」と「はげ」が同じ魚で「かわはぎ」の皮を取るのは 「はぐ」というより、「ベキッ」とむしりとり一瞬の早業。
ほんま 「ようやるわ!!」とおどろきでした。



剥ぎ取り前



剥ぎ取り後



「かわはぎ」の皮の剥ぎ取り

唐戸市場で日曜日 唐戸卸売市場のにぎわい 2005.10.16

でも、さすが フグの同属 サシミ 肝 煮付け どれも絶品でした
山口に残したままの家の草取りを口実に行くのですが、本当に生活に変化がついて 楽しんでいます。

■ 最近の興味から

【1】地球温暖化がもたらすもの 瀬戸内海・大阪湾を作った地球温暖化

また 縄文時代には 今より1~2℃気温が高く 海水面が上昇した時代があった

今から約2万年前氷河期が終わり頃、今より気温が約5度ほど低かった時代 海水面は今より約125mも下であった。その後 地球が温暖化が始まり、現在まで温暖な気候が続いている。

そして 温暖化が進むにつれ 海水面が上昇を続け、大陸と地続きであった日本が切り離されて日本海ができ、また、瀬戸内・大阪湾にも海水が流入して約1.5万年かけて現在の日本の骨格ができてきた。

岡山県 牛窓海岸のすぐ向かいに「黄島」という無人島がある。

縄文時代の初めから、環境変化と戦いながら 縄文中期まで人が住みつき、貝塚を作った遺跡がある。

ちょうどその過程で 太古の昔 陸続きであった大阪湾・瀬戸内海が出来てゆき、それを示す遺跡である。自分たちが住む街がどんな風であったのか それが 面白くて 瀬戸内海・大阪湾が出来てゆく様子をしらべました。

今 環境破壊による地球温暖化が大きな問題となっているが、一方では「われわれの生活への直接的影響は小さい」とたかをくくっている向きもある。

海水面が上昇してイタリア ベニス水没しかねないし、ガルフ湾やフィリピン沖の海水温度が高く、巨大台風がアメリカ南部や日本を襲う。度重なる集中豪雨の雨量は今までの予想設定値をはるかに越える。

「だから 異常だ」と言ってしまうとそれまでだが、それらが今問題となっている「地球温暖化が威力を発揮し始めた現れ」といえないだろうか・・・。

不安感をあおるつもりはないが、深刻な兆候と見なくてはならないだろう。

地球温暖化が海水面を今より数メートル水位を上げるだけでたいしたことないと見るのは あまりにも楽観に過ぎる。

2005.10.25. by Mutsu Nakanishi

氷河期が終わり、地球温暖化のプロセスの中で地続きであった四国と本州の間の瀬戸内海・大阪湾も形成されていった。

氷河に閉じ込められた「マンモス」に遡らなくても激変した日本列島は随所に見られる。

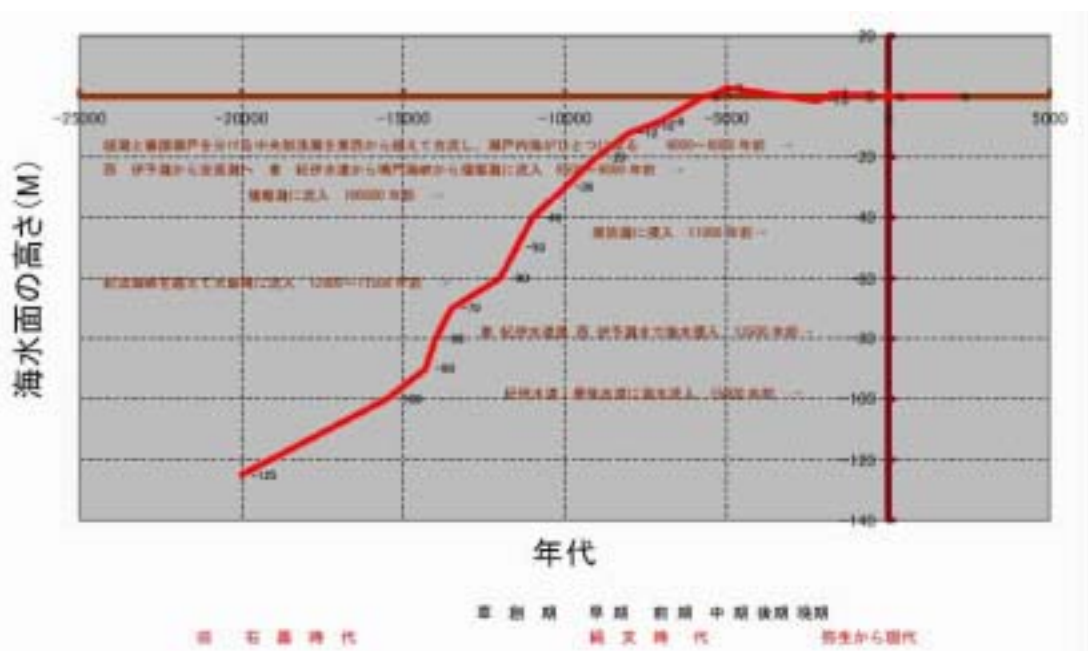
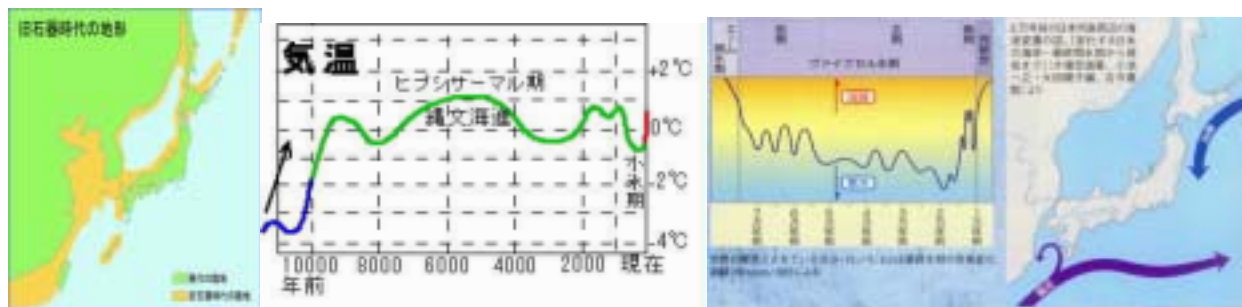
日本の四季 針葉樹から広葉樹まで広く分布する森 みんなそんな日本の激変の痕跡である

日本海に入った温暖な海流が作った上昇気流は大陸からの強い季節風とあいまって、日本列島の急峻な山にぶち当たって猛烈な雨・雪を降らせ、川を流れ下る土砂が日本海側各地に平野部を随時形成した。

同じように太平洋側にも平野が形成され、日本列島が作られていった。

また、今から約 5000 年ほど前の縄文中期の時代に 最も気温が高くなり、今より 約 1~2℃高くなり、海水面は今より最大 3m も高かったと言う。

集中豪雨などの異常気象は頂点に達し、「縄文の海進」と呼ばれる時代を経て 現在の日本ができた。



氷河期の終わり約 2 万年前から現在までの海面上昇と瀬戸内海の形成

右図は現在の西日本であるが、縄文海進の時代には黄色く見える平野部がすっかり水没する



要するに 日本の位置はそんな気象の激変の影響を大きく受ける位置にあり、それに地震・火山噴火が気象異変に拍車をかける。

地球温暖化が引き起こす問題は海面上昇に端的にあらわれるが、それにとどまらず、更なる異常を地球全体に引き起こす。今までの数値では評価できない気象の数々の

異常値はすでに生活を脅かしはじめている。

今までの常識の中では 生きていけない時代にさしかかったのではないか

それに対する認識と切り替えそして 温暖化を食い止めて行く工夫が生活の中でも必要になっていると思えてならない。

「大阪湾が枚方の生駒山のあたりまで入りこんでいた」なんてにわかには信じがたかったのですが事実。四国と本州の間に広がる瀬戸内海 昔は平原で、現在の本四連絡ルート備讃瀬戸は昔南北に峰が連なる分水嶺。神戸阪神間の海岸線も面白い。地球温暖化がもたらすすごさを知りました。

衛星写真が簡単にパソコンで見られる時代 視覚的に海水の流入や流れ出し口がわかっておもしろい。

図面を含め下記にまとめました

■ **地球温暖化がもたらすもの 瀬戸内海・大阪湾を作った地球温暖化**
縄文時代には 今より 1~2℃気温が高く 海水面が上昇した時代があった

だんだん 出不精になつていますが、「こんな会 展覧会やっている」と聞くと あっちへいったり こっちへいったりです。近郊ハイキングもぼけ防止 なんとか近郊の山によじ登っています。

最近 姫路と加古川の境にある「播磨アルプス 高御位山」に通っています。

高速道路を西へ行くと加古川を渡るあたりで、きれいな三角形の山が正面に見える。幾つもハイキングコースがあって 兵庫の人には知られた山。

播磨灘から大阪湾まで見通せ、起伏のある岩尾根で展望の聞く尾根歩きが気楽に楽しめ、足の鍛錬には goo。

山であった土地の人は「大風の時が アルプス気分が最高」というのですが・・・



加古川の土手を越えると正面に端正な山体の高御位山が見える



岩尾根の稜線からは大阪湾・播磨灘が一望 須磨の山から西 播磨平野を挟んで次の山が高御位山

- 仲間もそくそく定年で「毎日サンデー エンジョイ」組へ
そんなベナンの仲間のひとりが右のように本を書きました。
何かの参考になれば・・・

- 10月の初めに下記 2件をホームページに追加しました。

1. 9月の初め 夜明かした富山県越中八尾「風の盆」

遅まきながら 胡弓の哀調帯びた音に越中おわら節に優美なおどりを整理しました。

音を聞いてもらわないといがつたわらず、あまりよい出来ではありませ



んが 音も入れました。

2. 写真アルバム 若狭・北近江国境の赤坂山・三国山 Walk

湖北 古代鉄の郷 マキノの北の壁にそびえる赤坂山・三国山の連山

朝鮮半島・日本海側から琵琶湖・近江へと続く古代和鉄の道・Iron Road

今年の夏 あちこち出かけたこともあって、更新整理できていなかったもので、沢山の更新になりました。

たまれば でかけなええ・・・といわれるのですが、そこは性分です

もう あっという間の一年が過ぎてゆきます。

団塊の世代仲間の一人がビックリするように

「世の中 このまま任せていて良いのか・・・積極的に選挙も 何もかも参加せんと」と。

とにかく 毎日元気にしています。 また 神戸にもお立ち寄りください。



開聞岳の夕日 川尻浜で

川尻浜の砂粒

開聞から西の枕崎へ伸びる砂浜

開聞岳の山裾 開聞町川尻の浜 夕日の素晴らしい浜

浜の美しい大粒の砂がすべて砂鉄 こんな砂鉄みるのも初めてでした

2005.11.5. 神戸にて Mutsu Nakanishi

◆ 今月のホームページ 掲載記事 概要

【10月 new page】

1. 「風の盆 アルバム」 越中八尾「風の盆」を訪ねて



9月の初め 夜明かしした富山県越中八尾「風の盆」

遅まきながら 胡弓の哀調帯びた音に越中おわら節に優美なおどりを整理しました。

胡弓の音が魅力の風の盆。あまりよい出来ではありませんが 音も入れました。

2. 写真アルバム 若狭・北近江国境の赤坂山・三国山 Walk

湖北 古代鉄の郷 マキノの北の壁にそびえる赤坂山・三国山の連山

朝鮮半島・日本海側から琵琶湖・近江へと続く古代和鉄の道・Iron Road

【11月 new page】

3. 薩摩 知覧の石組み製鉄遺跡群を訪ねて 薩摩は火の国 鉄の国



鹿児島県知覧町の丘陵地にある薩摩独特の石組みたたら炉群を知人に教えてもらって訪ねました。
初めて知るたたら炉。

この技術が幕末島津藩が日本最初の薩摩洋式高炉を建設する基礎技術になった。

石堀の美しい知覧町 石組み製鉄炉 そして 海岸に堆積する砂鉄

みんな太古からの激烈な火山噴火の産物がルーツです

初めて 出会うものばかりで 本当にビックリ。薩摩が「鉄の国」であること知りました。

4. 写真アルバム 「薩摩富士 開聞岳」



どこから見ても円錐形の開聞岳 魅せられた山のひとつ 登ってきました。

「高さこそ劣れ これほど完璧な円錐形もなければ、全身を海中に乗り出した卓越した構造もあるまい」と深田久弥が驚嘆した山である。

海岸からの夕日・朝焼けの山をみて、鉄道・畑の向こうに見える姿を見て、山を巻きながらグルット一周頂上から 360 度の展望を楽しむことができました

5. 田中講平さんの「萩」と山口市吉敷の四季とのコラボレーション

田中講平さんの素晴らしい作品展示館 「GALLERY HAZUKI」を訪れて

オールカラー鋼板の斬新な建物に感激



6. 四季折々 11月

■ 地球温暖化がもたらすもの 瀬戸内海・大阪湾を作った地球温暖化

縄文時代には 今より 1~2℃気温が高く 海水面が上昇した時代があった

■ 面白い市場 下関唐戸市場【1】 日曜日下関「唐戸市場」は「うまいもの市・お祭り広場」

■ 面白い市場 下関唐戸市場【2】 「はげ」と「かわはぎ」は同じ魚 皮の剥ぎ取りの早業にびっくり



Merry Christmas!

「愛」心の平和が常に皆様のうえにありますように

2005.12.20. Mutsu Nakanishi

12 月になって それまでの暖かさがうそのような本当に寒い寒い極寒の日が続いています。

風などひかれませんように

神戸では 冬の風物詩として定着した「ルミナリエ」も始まり、師走。

最近はその世相とは離れ、師走といつても ビンときませんが・・・・

今年を象徴する言葉は「愛」という。「愛」が今ほど渴望される時代はないというのが理由。

某新聞は今年の現実を象徴する言葉は「崩」。「愛」が本当に必要なのだと書いていました。

「愛」ほど深い言葉はない。思い返すと次から次へと良いことも悪いことも次から次へと「愛」の場面が浮かんでくる。

世の中が「デジタル」「ユビキタス」を喧伝し、中身も考えずに みんな乗り遅れまいともがいていて、かつての「効率 合理化コストダウン」に走った時代とが重なる。

日本人の好きなこれらの「リーダー至上主義」に一抹の不安を抱いている。

「みんなで渡ればこわくない信号」 ふつと一人 たたずんだ時の不安感。そんな不安感もまた 世間に広がっている。

本当に時代が変わる。そんな中でひちめんどくさい議論よりも「丁半」バクチ。それが 改革 デジタルの選択という。その判断の根底までもが、「丁半」では????

「縄文は日本人の心のふるさと」「万葉は心のふるさと」とよく言われるが、自分を揺り動かす「心のふるさと」「心情」がなければ・・・・

「ちょっと待て 車は急にはとまれない」である。

「衝動に駆られても してはならないことをやらない 判断・心情」 軽薄なデジタルの「手法」ではでてこない「理念」が一番求められている。社会一般では気づいていないが・・・・

デジタル・情報社会がスピードを求め、「不連続な革新 現在・今」を求めているのに対し、「判断の力」は「経験・理解・コミュニケーションなど過去・現在・未来の連続性」の中からはしか生まれない。

時代が変わろうとしている時 「原点に帰れ」とよく言われるが 日本人も今一度「原点に帰るとは何か?」を考えねばならぬ時ではないでしょうか・・・

今年一年 常識的には考えられないことが多く起っています。でも それを煽ったのは誰か・・・

「かつての寵児が 今批判的」そんな構図がこの 10 年繰り返し繰り返しつづいている。

そんな中で きちがいじみたことがおこり、その矛先が「年寄り 老人 子供」の弱者に向いている。

自分に限って・・・ まさか 自分にふりかかろうとは・・・ではない。

「踊らす方も 踊る方も もそんな立場から うそろそろ卒業しないと。

野次馬ではすまないグローバル インターナショナルの社会

「踊らされない 踊らない 楽しみ多き社会へ」

「崩」から「愛」へ ひとりひとりが自分の判断力を養わないと本当に冷たい社会になりかねない。

「愛」という言葉に ことし一年のインターネット配信を読み返しながそんなことを思い巡らしています。

ことし一年 お付き合いいただき ありがとうございます。

また 引き続きよろしく。

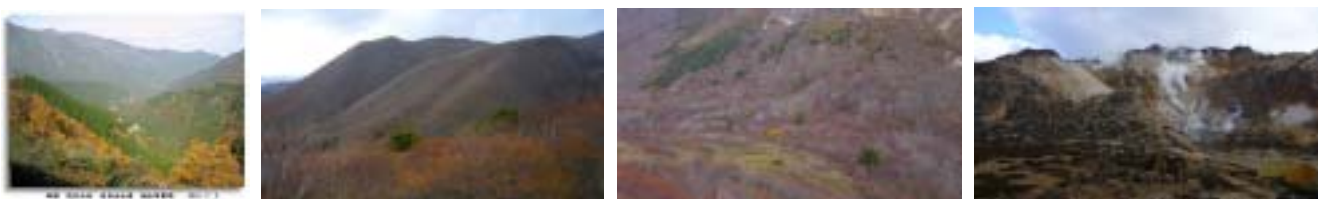
2005.12.20.

神戸にて ホームページ更新に一年を思い返しなが

Mutsu Nakanishi



銅の露頭を見せる旧別子銅山赤石山山系と日本最初の溶鉱炉建設地 渡島半島恵山海岸「古武井」



四国別子山村の紅葉 2005.11.9. & 北海道恵山山麓初冬の装い 2005.11.14.

12 月のホームページの更新です。

相変わらず、風来坊を楽しんでいます。だんだん更新のスピードが遅れてきて、これは頭のリフレッシュせねば・・・と思っているこのごろです。

11 月 四国の愛媛 そして 札幌にいる娘一家を訪ね 晩周から初冬の函館を歩いて来ました。

そんな風来坊のアルバムで ホームページを更新しました。

■ 四国北岸を東西に直線で走る大断層「中央構造線」 walk

中央構造線をクロスして西赤石山系の「旧別子銅山の里」別子山村を訪ねて



11 月 萩焼の田中講平氏の作陶展が松山であったのを機会に久しぶりに四国へ。

四国は仕事で東予の造船所との新しい構造物材料開発で 足しげく通い、材料技術屋の私を鍛えてくれた場所。衛星写真でみると前から気になっていたのですが、徳島吉野川から四国北岸沿い川之江を経て松山へ直線で東西に貫く中央構造線の大断層があり、平野部の南の壁となって四国山地となってそびえている。そして、この断層の険しい山の中に住友の旧別子銅山がある。

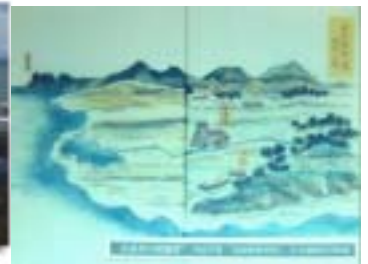
平野部からこの大断層をクロスし、別子銅山の産業遺産を見に行くこと計画し、訪ねてきました。衛星写真と自分がかつて訪れ田時の風景などを重ねながら出掛けたのですが、素晴らしい景色と共に過疎のすごさを見たような気がします。

わずか 平野部から10数キロ圏のところが、日に3本しかバスが通わぬ山の中。それも数十キロ迂回して…。大断層中央構造線のすごさでもあります。・・・

また、松山三越での 萩焼 田中講平さんの作陶展 いつも新しい発見があって 表情豊かな作品が楽しい。今年も素晴らしい作品が並んでいました。

花器田中講平さんのホームページに作品が掲載されていますので 一度ご鑑賞を。

■ 晩秋から初冬の北海道 渡島半島に和鉄の郷を訪ねて



● 晩秋の函館散策 函館山の夜景・元町教会群・五稜郭・トラピスチヌ修道院

● 和鉄の道 日本で最初の洋式高炉を建てた渡島半島の先端 恵山海岸を訪ねて

家内の誕生日の格安航空券にくっついて北海道へ

久しぶりに孫たちの顔を見て、晩秋から初頭の北海道を楽しんで来ました。

娘が北海道にいる間に是非 函館の町と夜景をあるいてみたいという家内に乗って、函館の街の散策そして、前回函館で行けなかった渡島半島の先端の活火山「恵山」へも行って来ました。

素晴らしい函館の夜景と街の散策を学生時代に帰って楽しみました。

また 行きたくて うずうずしていた「恵山」の海岸。

幕末 成功はしませんでした、「日本で最初に洋式高炉が建設された場所」。



函館散策と函館山の夜景 2005.11.13&14

遠く北海道 地方の試みと思っていましたが、鹿児島薩摩 藩の溶鉱炉といい この渡島恵山（古武井）の溶鉱炉といい、文明開化は開港を余儀なくされた最果ての地から始まり、また、いつの時代でも 鉄の重要性を物語る鉄の一ページ そんな気が恵山をバツクに砂浜に堆積する砂鉄をみているとそんなことが ひょいと頭をよぎりました。思っても見ないことでした。



四国別子山村の紅葉 2005.11.9. & 北海道恵山山麓初冬の装い 2005.11.14.

今年の紅葉は暖冬でありきれいでなかったと聞きましたが、銅山川にそう四国別子山村は紅葉満開。銅の露頭を見せる荒々しい岩峰を背景に赤・黄の紅葉が狭い谷を覆い尽くしていました。
また 北海道はすでに真っ赤な紅葉の季節を終えて初冬でしたが、重なり合う落葉した枝が光り輝きまるで日本画でも見るかのような北海道独特のモノトーンの素晴らしい紅葉でした。

ついでながら 旭川のペンギンや白熊 オランウータンなど 棟物の行動展示で知られる旭山動物園。
好奇心に駆られて娘一家と楽しんできましたが、掛け値なしに面白い。見ていて楽しくなる動物園。
大人の方が子供より多い動物園など初めて。
ツアーも沢山でているようですが、寒いことのぞけば 病み付きになる・・・・・・
ひとをひきつけるのに、こんな方法があったのか・・・・と頭の固いわたしにはガァ〜ンでした。



■ 瀬戸内海誕生の歴史を語る岡山県牛窓海岸の黄島・黒島 2005.11.28.



牛窓天神山古墳から見る黒島 前島から見る黄島 バツクに小豆島がかすむ
また、先月掲載しました瀬戸内海の成り立ちを示す岡山県牛窓海岸 縄文の黄島貝塚遺跡。
北海道にでかけたので、仲間に同行できませんでしたが、本当に面白い場所だったと写真とメールもらって、「やっぱり行ってこ」と一人で出掛けました。
縄文の貝塚のある黄島 黒島には入れませんでしたが、牛窓海岸や直ぐその前にある前島から眺めてきました。夕日に輝く備讃瀬戸の島々が印象的でした。
今月ようまとめませんでしたので、写真のみ 掲載します。

■ 写真アルバム 瀬戸内海誕生の歴史を語る岡山県牛窓海岸の黄島・黒島 2005.11.28.

■ 参 考 地球温暖化がもたらすもの 瀬戸内海・大阪湾を作った地球温暖化

縄文時代には 今より 1~2℃気温が高く 海水面が上昇した時代があった